

尾鷲市地域公共交通に関するアンケート調査結果報告

令和3年11月

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	2
3. その他の回答	35
4. 自由記述	48
5. 調査票	56

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の日常的な交通行動、公共交通の利用意向、費用負担等についての考え方等を把握し、公共交通利用のニーズ、今後のあり方等を検討するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。（尾鷲市まちづくりに関するアンケートとの合同調査）

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ■ 調査項目 | 属性 |
| 問1～問5. | 外出時のことについて |
| 問6～問8. | JRの利用について |
| 問9～問10. | 高速バスの利用について |
| 問11～問12. | 路線バス・ふれあいバスの利用について |
| 問13. | バスを利用して行きたい場所について |
| 問14. | 定時・定路線のバス運行について |
| 問15～問16. | デマンド交通について |
| 問17～問20. | 今後の公共交通について |
| | ご自身について |
| | 自由意見 |
| ■ 調査対象 | 18歳以上80歳以下の市民から1,000人を無作為抽出 |
| ■ 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| ■ 調査時期 | 令和3年2月 |
| ■ 配布数 | 1,000票 |
| ■ 回収状況 | 回収票数 443票 回収率 44.3% |

(2) 調査結果の見方

比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

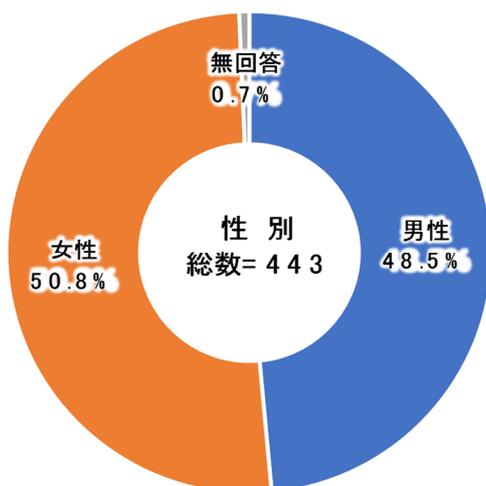
図表中の「総数」とは、回答者総数のことです。

前回の結果と比較している場合に、前回とは、「尾鷲市地域公共交通網形成計画」を策定した際に実施したアンケート（平成28年）の結果です。

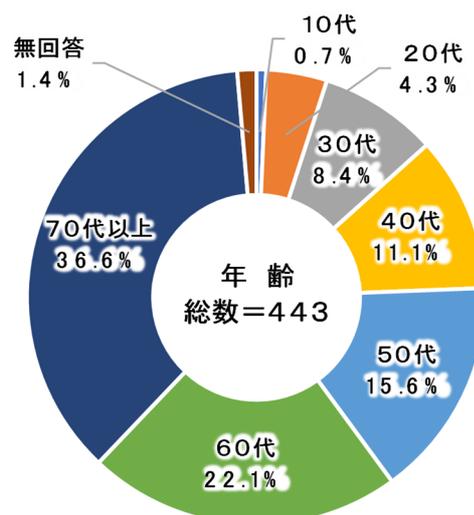
2. 調査結果

属性

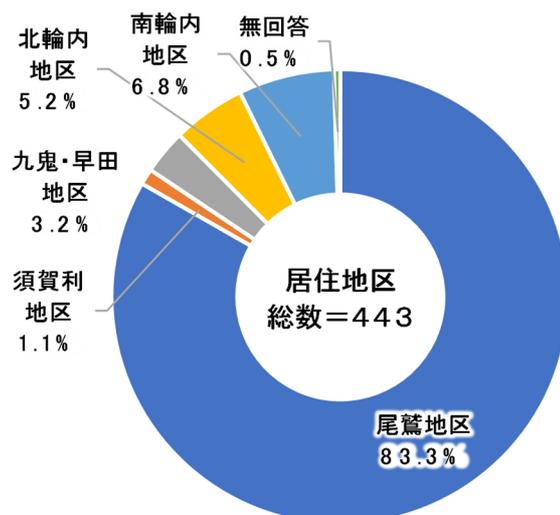
【性別】



【年齢】



【居住地区】



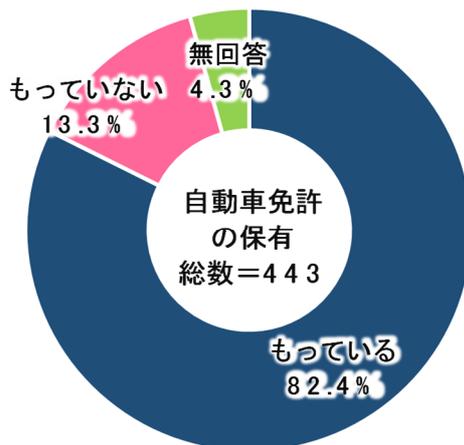
2. 調査結果

自動車運転免許の有無は、「もっている」が82.4%でした。年代別に見ると、10代と70代以上を除く年代で、8割以上の方が自動車免許を持っています。また、その中の9割以上の方が自動車を自分で運転しています。

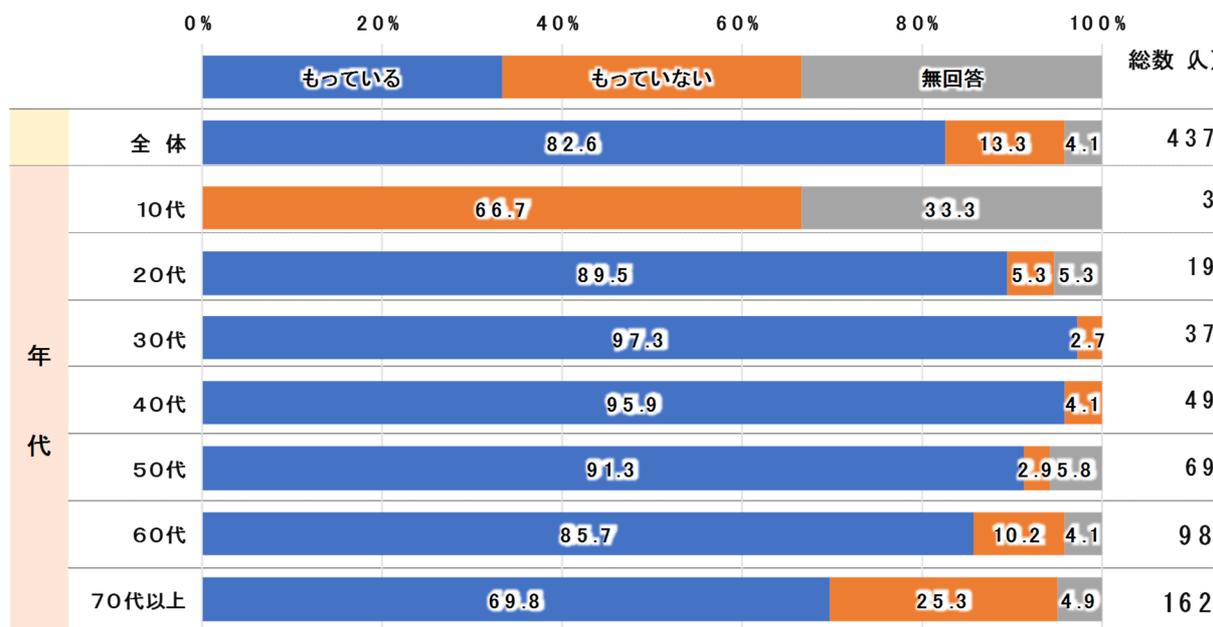
運転免許の自主返納を考えている人は、76.7%となっています。

高齢化が進む中で、公共交通の重要性が増しています。

【自動車運転免許の有無】



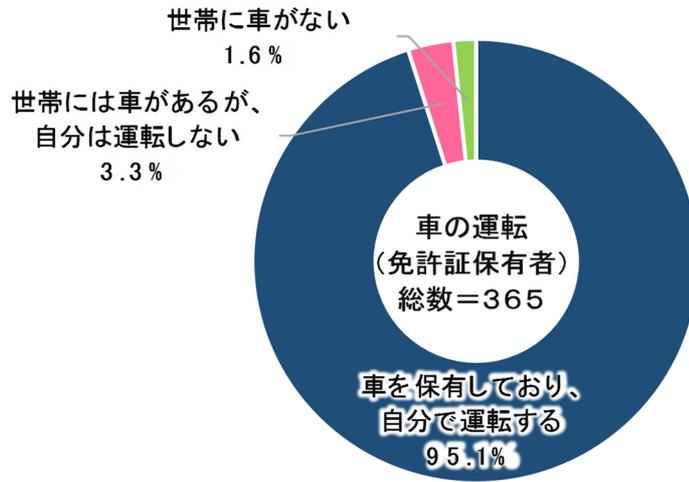
【年代別・自動車運転免許の有無】



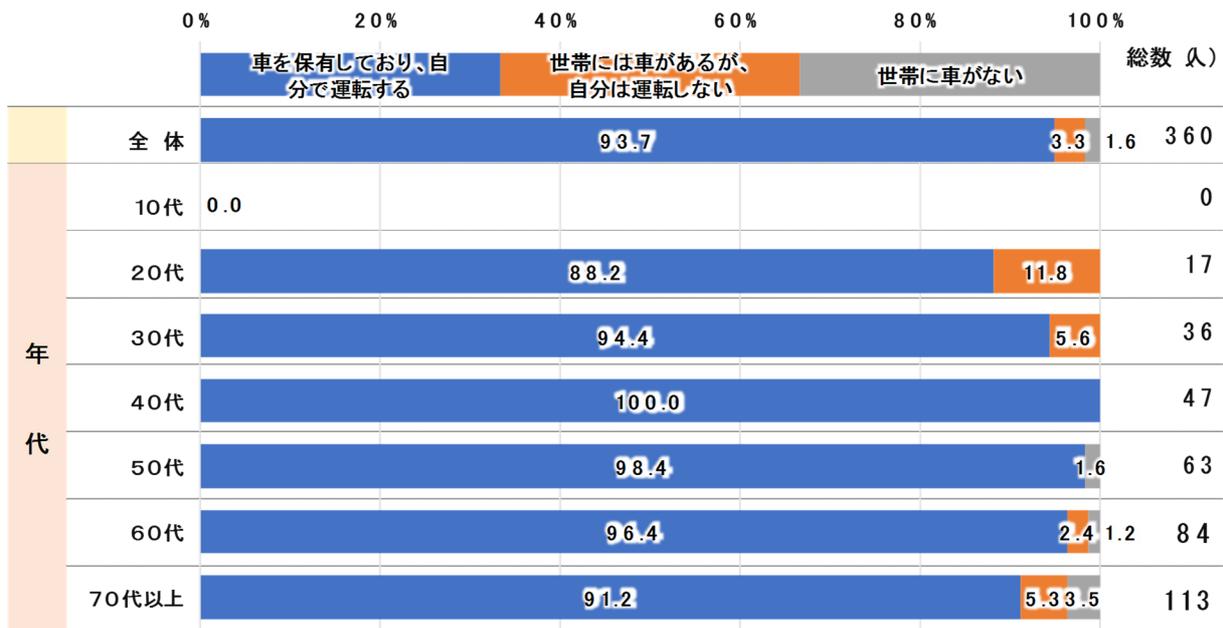
※年齢不詳6件除く

2. 調査結果

【自動車の運転(運転免許保有者を対象)】



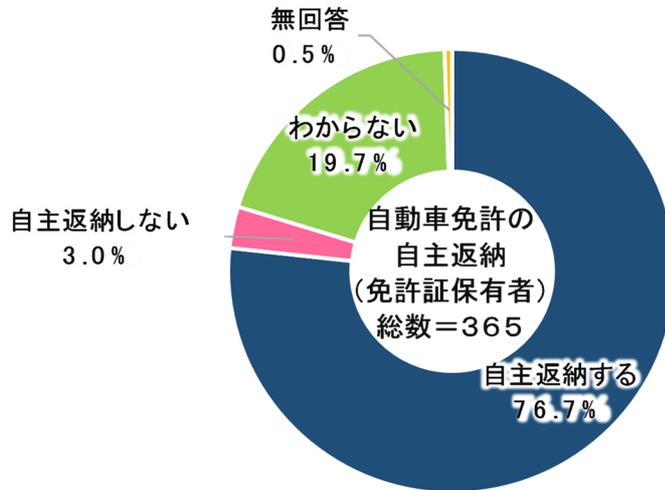
【年代別・自動車の運転(運転免許保有者を対象)】



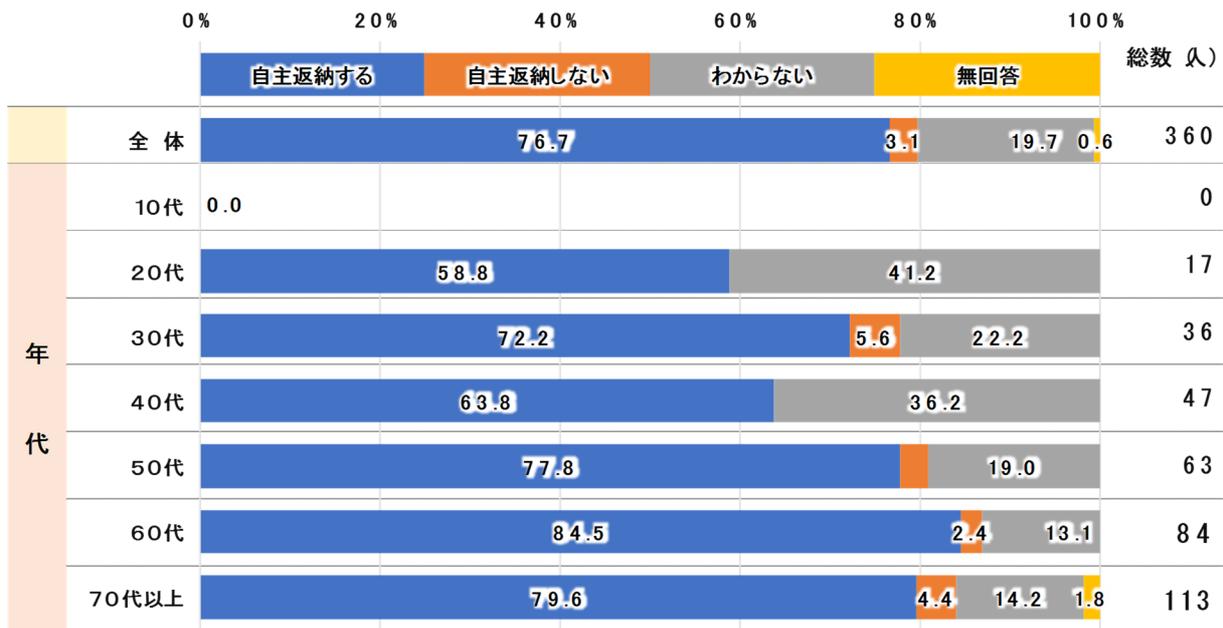
※年齢不詳5件除く

2. 調査結果

【運転免許証の自主返納(運転免許保有者を対象)】



【年代別・運転免許証の自主返納(運転免許保有者を対象)】

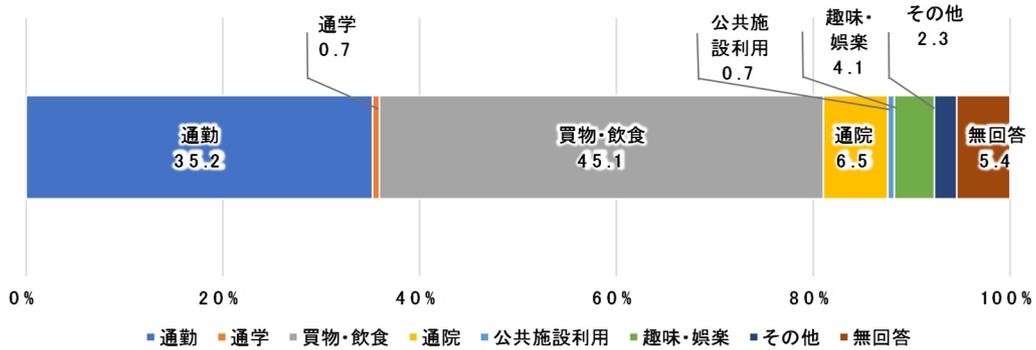


※年齢不詳5件除く

2. 調査結果

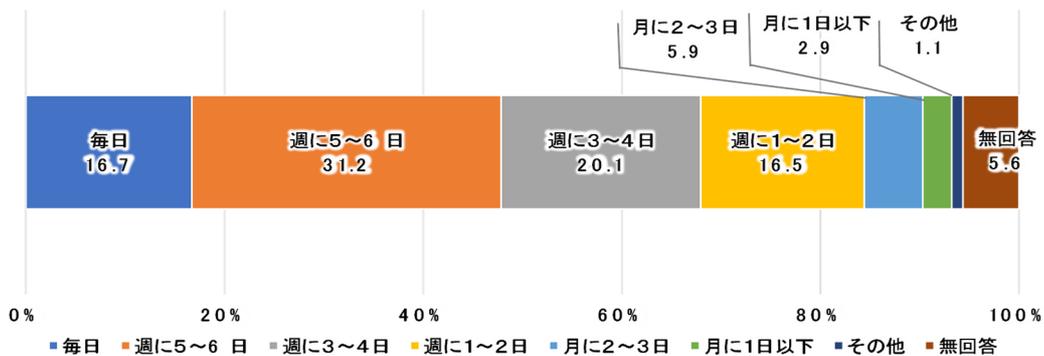
問1. 普段、外出されるときにの主な目的

最も多いのは「買い物・飲食」45.1%、ついで「通勤」35.2%、「通院」6.5%となっています。

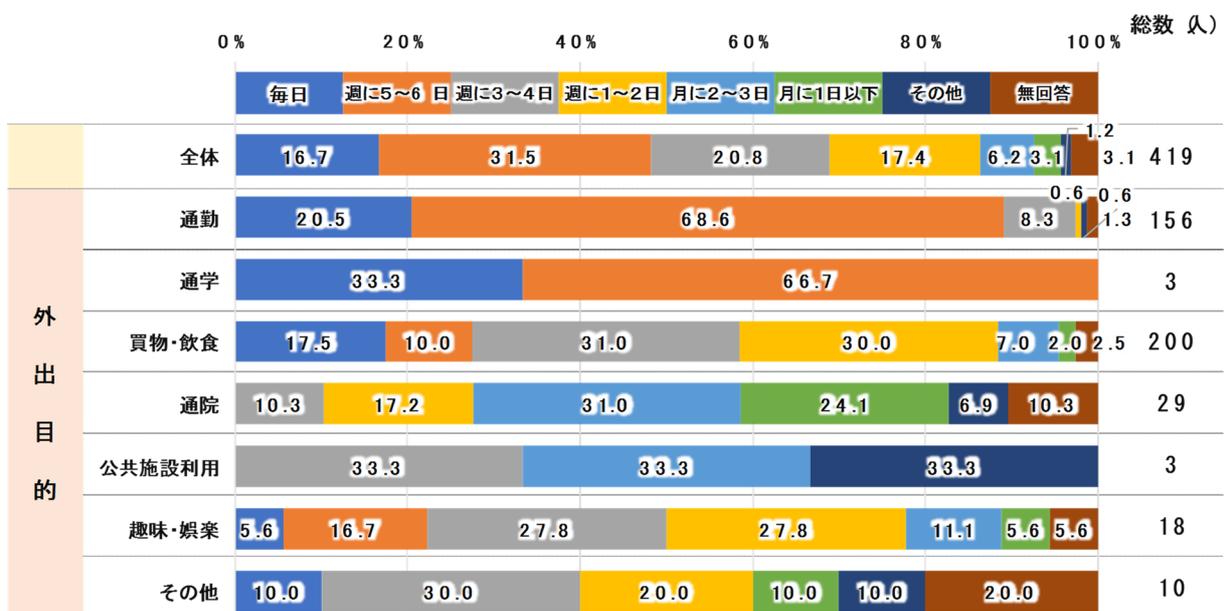


問2. 外出されるときにの外出頻度

最も多いのは「週に5～6日」31.2%、ついで「週に3～4日」20.1%、次いで「毎日」16.7%「週に1～2日」16.5%となっています。外出目的によってかなり異なります。



外出目的別・頻度

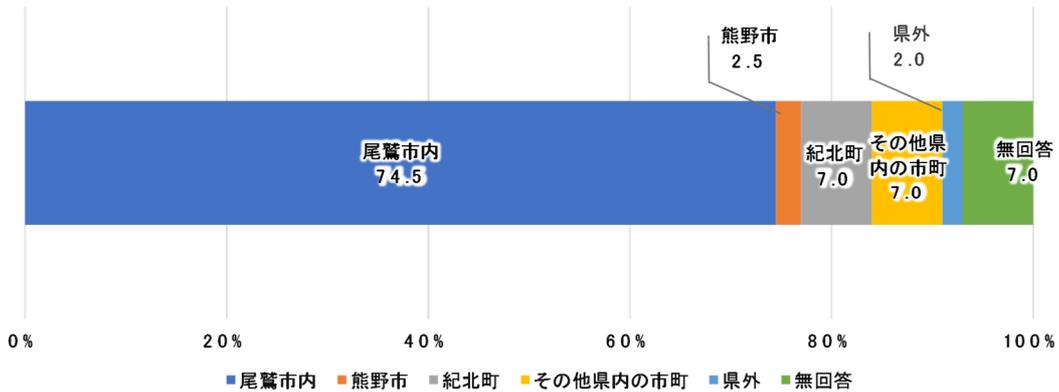


※目的無回答24件を除く

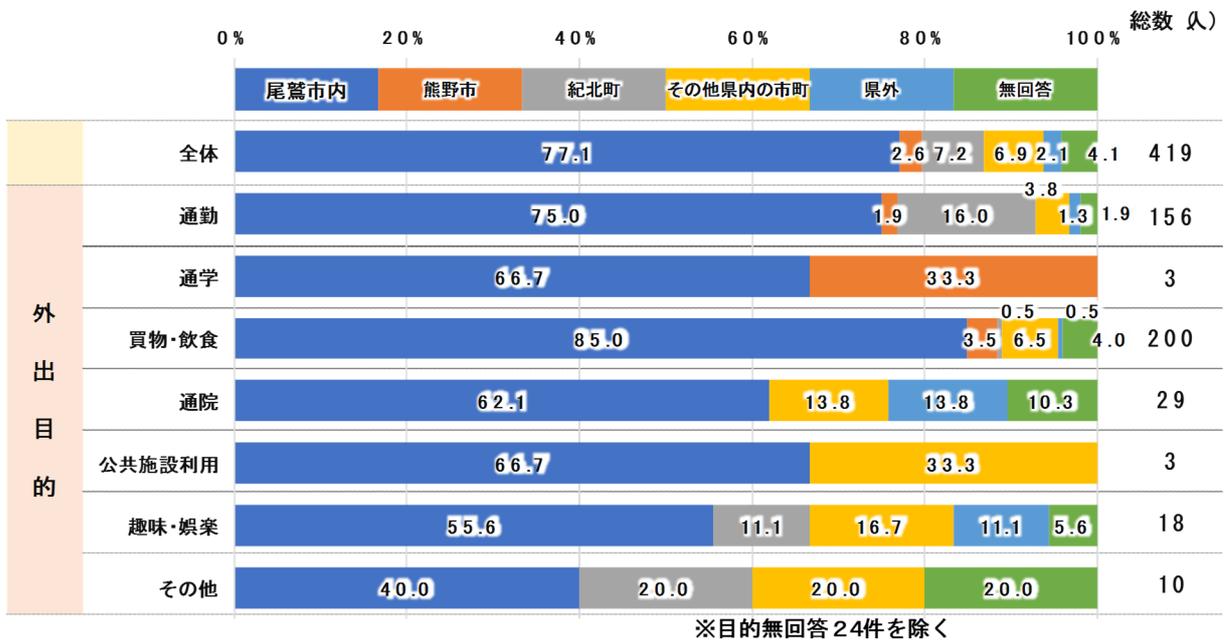
2. 調査結果

問3. 目的地（行先）の所在地

最も多いのは「尾鷲市内」74.5%となっています。目的別に行き先を見てみると、通勤や通学、買物など週に5日以上の外出については、尾鷲市内が行先のようにです。おもに「月に2～3回」から「週に3～4回」の頻度で外出している「通院」や「公共施設利用」については、尾鷲市外の割合が増して、「通院」が「県内の市町」「県外」で各々13.8%、「公共施設利用」で33.3%となっています。



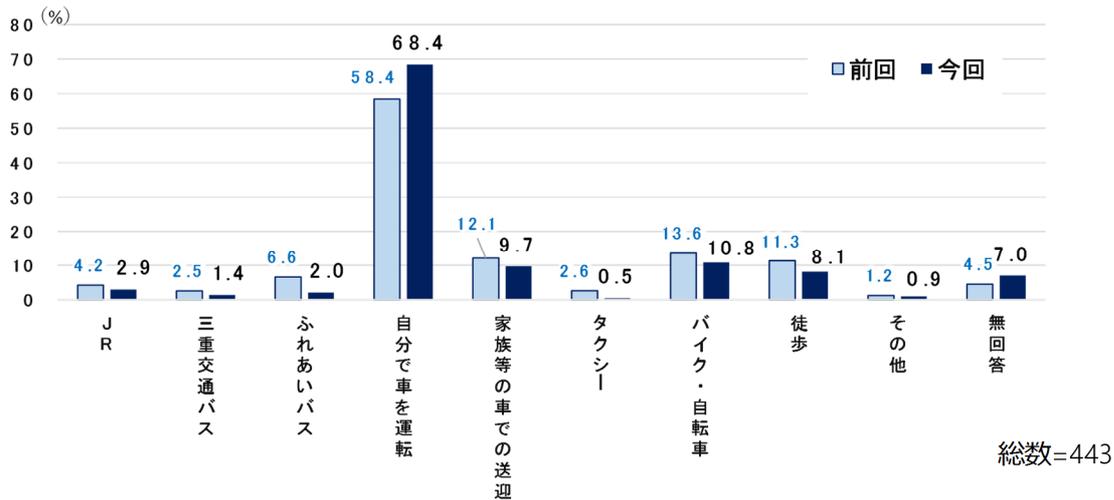
外出目的別・目的地（行先）の所在地



2. 調査結果

問4. 目的地（行先）までの交通手段（複数回答）

最も多いのは「自分で車を運転」で68.4%となっています。公共交通の利用は「JR」2.9%、「ふれあいバス」2.0%、「三重交通バス」1.4%、「タクシー」0.5%で合計6.8%となっています。前回（平成28年）と比較すると、自分で車を運転する人が10ポイント増加し、公共交通を利用する人は15.9%から6.8%まで概ね半減しています。「ふれあいバス」は6.6%から2.0%へと1/3に減少しました。



年代別・地区別目的地（行先）までの交通手段

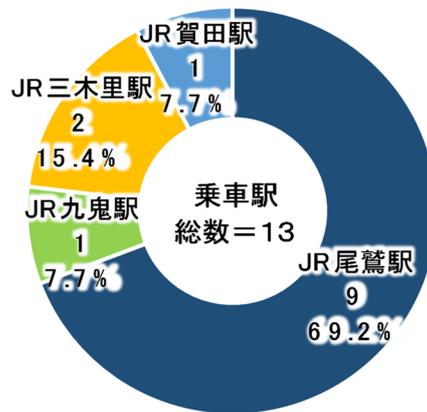
		合計	JR	三重交通バス	ふれあいバス	自分で車を運転	家族等の車での送迎	タクシー	バイク・自転車	徒歩	その他	無回答
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
10代	人	3	1	1							1	1
	%	(%)	33.3	33.3							33.3	33.3
20代	人	19	1			12	2		1	3		2
	%	(%)	5.3			63.2	10.5		5.3	15.8		10.5
30代	人	37	1			25	4		3	5		1
	%	(%)	2.7			67.6	10.8		8.1	13.5		2.7
40代	人	49				39	1		6	4		1
	%	(%)				79.6	2.0		12.2	8.2		2.0
50代	人	69	1		1	58	1	1	7	4		4
	%	(%)	1.4		1.4	84.1	1.4	1.4	10.1	5.8		5.8
60代	人	98	3	2	4	73	9		10	5	1	4
	%	(%)	3.1	2.0	4.1	74.5	9.2		10.2	5.1	1.0	4.1
70代以上	人	162	6	3	4	91	26	1	21	15	2	17
	%	(%)	3.7	1.9	2.5	56.2	16.0	0.6	13.0	9.3	1.2	10.5
尾鷲地区	人	369	9	4	4	254	32	2	48	36	2	21
	%	(%)	2.4	1.1	1.1	68.8	8.7	0.5	13.0	9.8	0.5	5.7
	人	5				3						2

2. 調査結果

須賀利地区	%	(%)				60.0						40.0
九鬼早田地区	人	14	1		1	12	1				1	
	%	(%)	7.1		7.1	85.7	7.1				7.1	
北輪内地区	人	23	2	1	2	17	4					1
	%	(%)	8.7	4.3	8.7	73.9	17.4					4.3
南輪内地区	人	30	1	1	2	16	6				1	6
	%	(%)	3.3	3.3	6.7	53.3	20.0				3.3	20.0

JRと回答した人の乗車駅

最も多いのは「尾鷲駅」69.2%、ついで「三木里駅」15.4%、同率で「賀田駅」「九鬼駅」7.7%となっています。

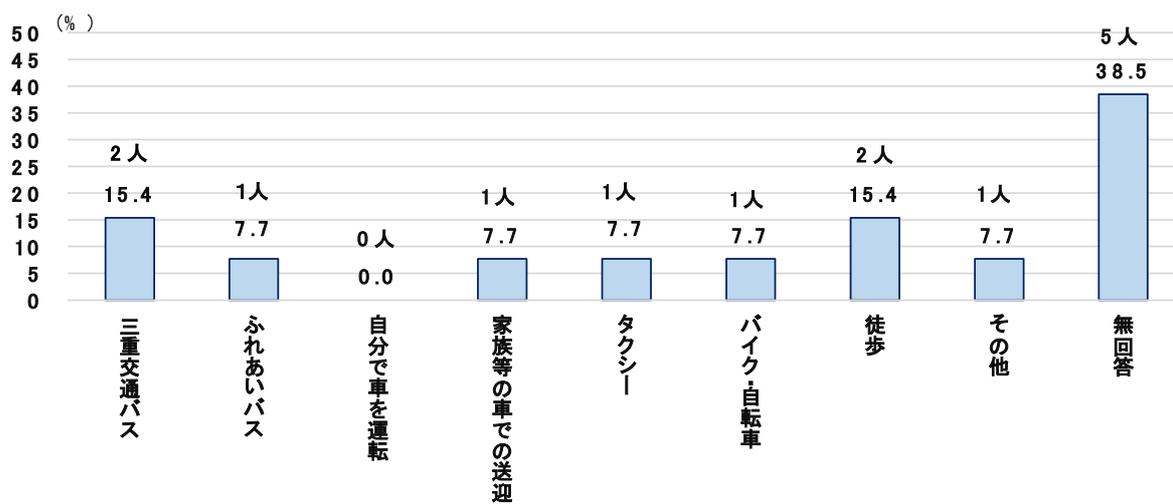


JRと回答した人の駅までの交通手段

JR利用者のうち、駅までの交通機関で最も多いのは「三重交通バス」「徒歩」15.4%、ついで「ふれあいバス」「自転車」「家族等の車での送迎」「タクシー」が各々7.7%となっています。

今回総数=13

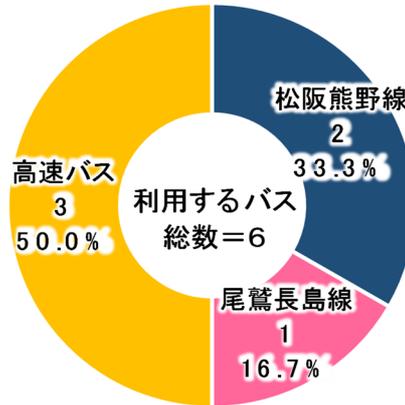
2. 調査結果



2. 調査結果

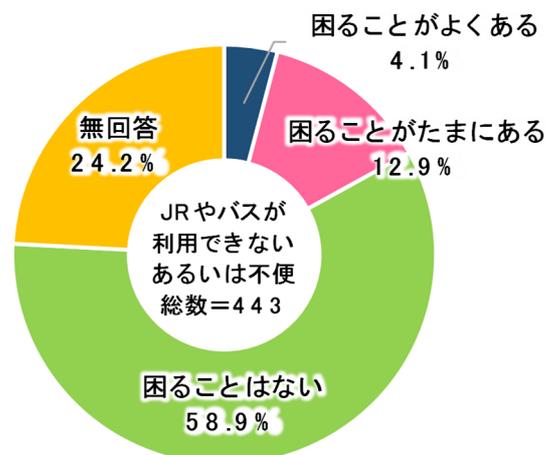
三重交通と回答した人のバス路線

最も多いのは「高速バス」が3人で50.0%、ついで「松阪熊野線」が2人で33.3%となっています。



問5. 外出したい時に、JR やバスが利用できない、あるいは不便で困ること

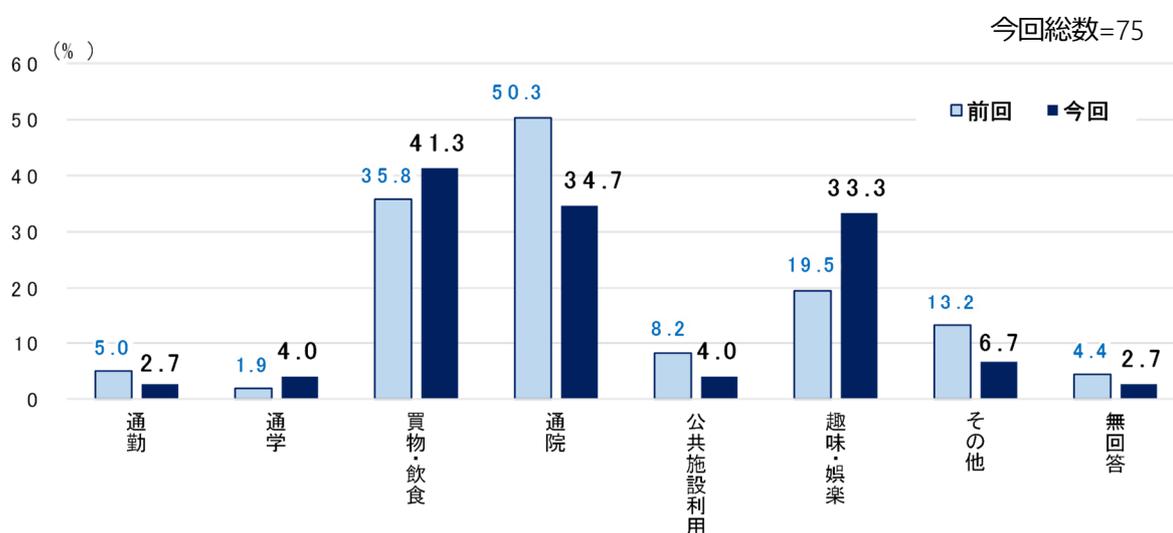
「困ることがある」と「困ることがたまにある」が合わせて17.0%となっています。一方、「困ることはない」が58.9%です。自分で車を運転する人は78.3%であることから、自家用車が移動手段になっている人が多いことがわかります。



2. 調査結果

(1) どのような目的で外出する時に困りますか。(2つまで○印)

最も多いのは「買物・飲食」41.3%、次いで「通院」34.7%となっています。前回（平成28年）と比較すると、「通院」が15.6ポイント減少し、「買物・飲食」が5.5ポイント増加しています。「趣味・娯楽」も13.8ポイント増加しています。



年代別・地区別外出目的

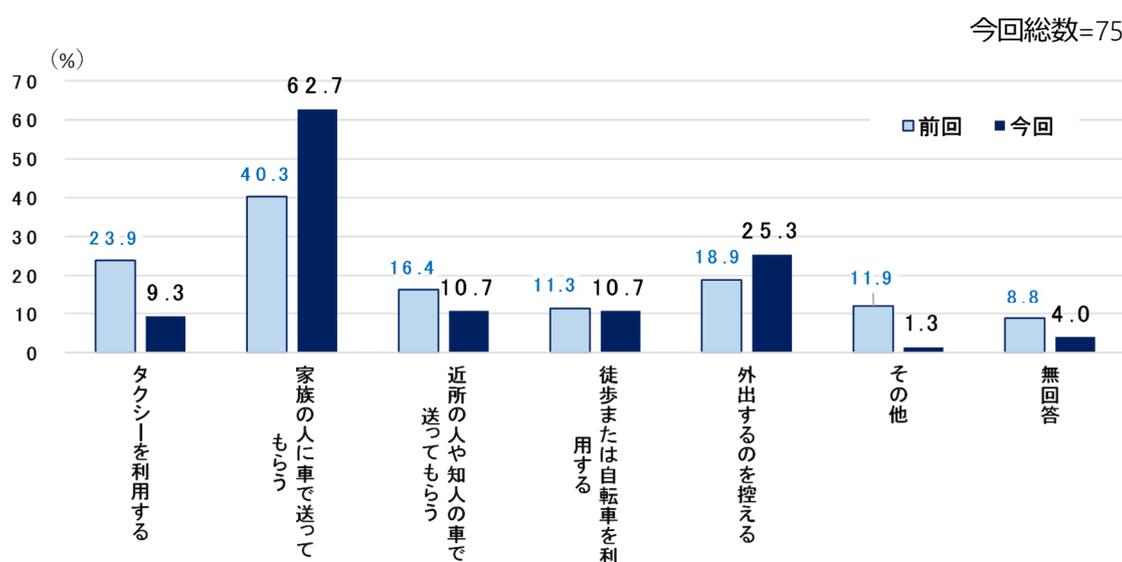
		合計	通勤	通学	買物・ 飲食	通院	公共施 設利用	趣味・ 娯楽	その他	無回答
10代	人	2			1			1		
	%	100.0			50.0			50.0		
20代	人	4		1				4		
	%	100.0		25.0				100.0		
30代	人	11		1	6	1	1	4	2	
	%	100.0		9.1	54.5	9.1	9.1	36.4	18.2	
40代	人	12			5	3		6		
	%	100.0			41.7	25.0		50.0		
50代	人	11	1		2	4	1	3	1	1
	%	100.0	9.1		18.2	36.4	9.1	27.3	9.1	9.1
60代	人	17	1	1	10	8		3		1
	%	100.0	5.9	5.9	58.8	47.1		17.6		5.9
70代 以上	人	16			6	10	1	2	2	
	%	100.0			37.5	62.5	6.25	12.5	12.5	
合計		60	1	3	21	21	3	23	5	1

2. 調査結果

尾鷲 地区	%	100.0	1.7	5.0	35.0	35.0	5.0	38.3	8.3	1.7
須賀利 地区	人	0								
	%	100.0								
九鬼早 田地区	人	1			1	1				
	%	100.0			100.0	100.0				
北輪内 地区	人	4			1	1		1		1
	%	100.0			25.0	25.0		25.0		25.0
南輪内 地区	人	10	1		8	3		1		
	%	100.0	10.0		80.0	30.0		10.0		

(2) 困るときには、どのようにしていますか。(2つまで○印)

最も多いのは「家族の人に車で送ってもらう」62.7%、ついで「外出するのを控える」25.3%となっています。



年代別・地区別困る時の交通手段

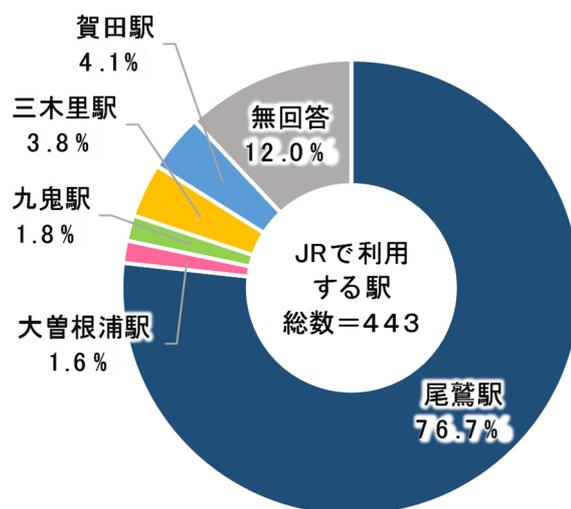
		合計	タクシーを利用する	家族の人に車で送ってもらう	近所の人や知人の車で送ってもらう	徒歩または自転車を利用する	外出するのを控える	その他	無回答
10代	人	2		1		1	1		
	%	100.0		50.0		50.0	50.0		
20代	人	4		3			1		
	%	100.0		75.0			25.0		
		人	11	6	1	2	2		2

2. 調査結果

30代	%	100.0		54.5	9.1	18.2	18.2		18.2
40代	人	12	2	8			2		
	%	100.0	16.7	66.7			16.7		
50代	人	11	1	6	2	1	3		1
	%	100.0	9.1	54.5	18.2	9.1	27.3		9.1
60代	人	17	1	12	2	3	4		
	%	100.0	5.9	70.6	11.8	17.6	23.5		
70代 以上	人	16	3	9	3	1	5	1	
	%	100.0	18.8	56.3	18.8	6.3	31.3	6.3	
尾鷲 地区	人	60	6	37	3	8	14		3
	%	100.0	10.0	61.7	5.0	13.3	23.3		5.0
須賀利 地区	人	0							
	%	100.0							
九鬼早 田地区	人	1	1		1				
	%	100.0	100.0		100.0				
北輪内 地区	人	4		3	1		1	1	
	%	(%)		75.0	25.0		25.0	25.0	
南輪内 地区	人	10		7	3		4		
	%	100.0		70.0	30.0		40.0		

問6 JRを利用する際に、利用する駅

最も多いのは「尾鷲駅」76.7%、ついで「賀田駅」4.1%、「三木里駅」3.8%となっています。

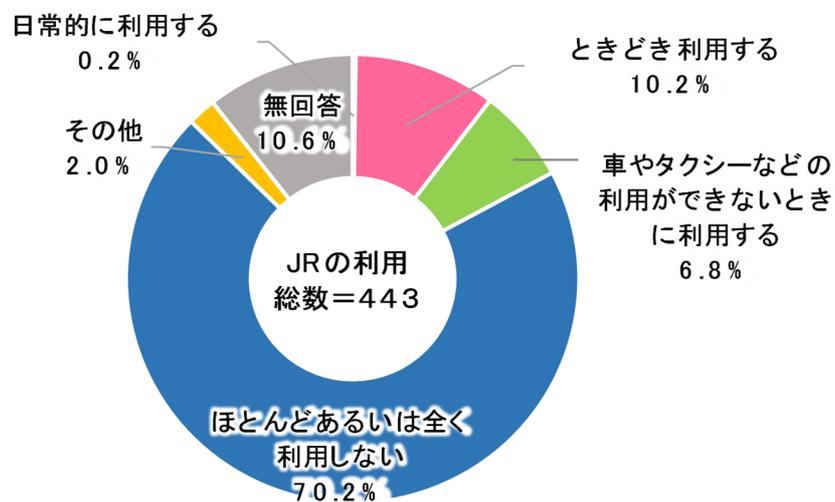


問7 JRの利用

最も多いのは「ほとんどあるいは全く利用しない」70.2%、ついで「ときどき利用する」10.2%、「車やタクシーなどの利用ができないときに理由する」6.8%となっています。利用しない人の

2. 調査結果

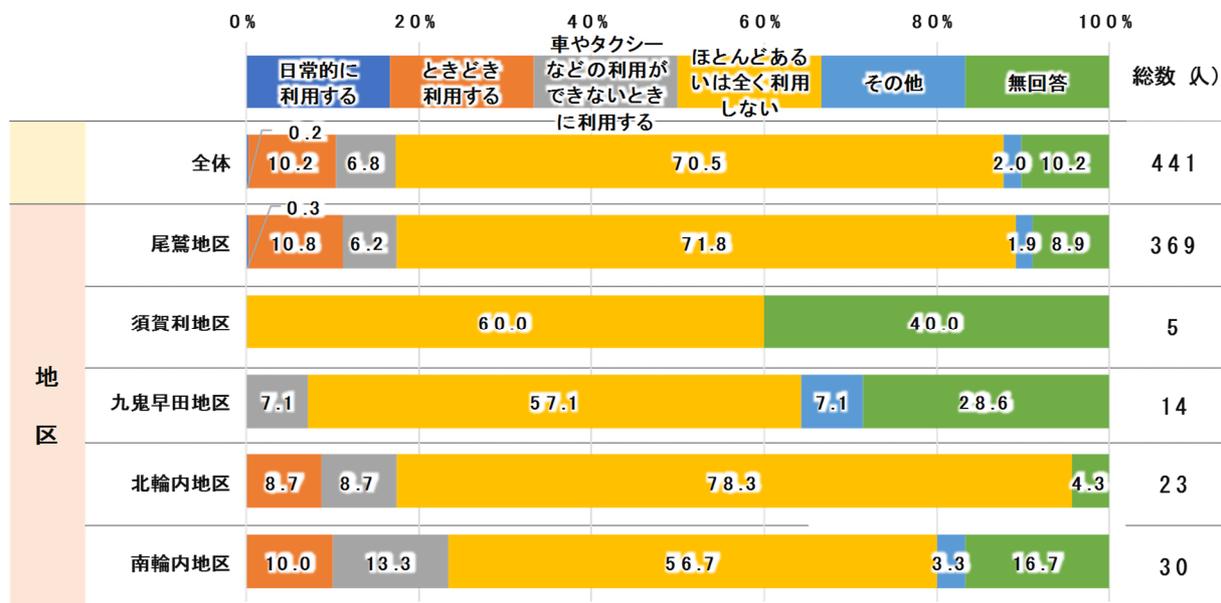
割合が7割を超えています。地区別に見ると、「利用する」「ときどき利用する」を合わせた利用する割合が最も多いのは、南輪内地区で23.3%となっています。一方「ほとんどあるいは全く利用しない」の割合が最も多かったのは、北輪内地区で78.3%となっています。



2. 調査結果

地域別・JRの年間利用頻度

地区別に見ると、「利用する」「ときどき利用する」を合わせた利用する割合が最も多いのは、南輪地区で23.3%となっています。一方「ほとんどあるいは全く利用しない」の割合が最も多かったのは、北輪内地区で78.3%となっています。



※地区無回答2件を除く

JRの年間利用頻度（ときどき利用する人のみ）

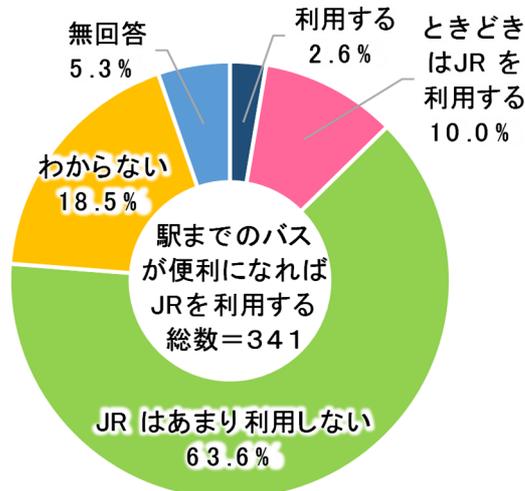
最も多いのは「年5回未満」35.6%、ついで「年10回～15回未満」13.3%となっています。



2. 調査結果

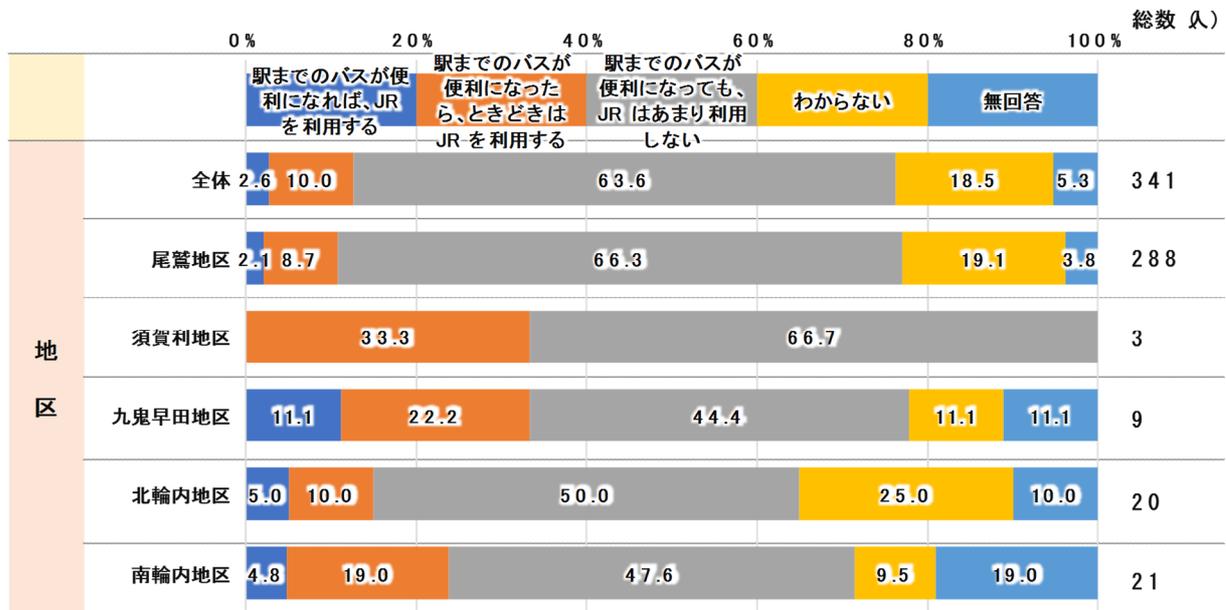
問8 JRをあまり利用されない方は、駅までのバスが便利になれば、JRを利用しますか。(JRをほとんどあるいはまったく利用しない人のみ)

駅までのバスが便利になっても「JRはあまり利用しない」が63.6%で最も多いですが、「利用する」「時々是利用する」を合わせると12.6%であり、約1割程度は利用が増える可能性があります。



地区別・JRの年間利用頻度 (JRをほとんどあるいはまったく利用しない人のみ)

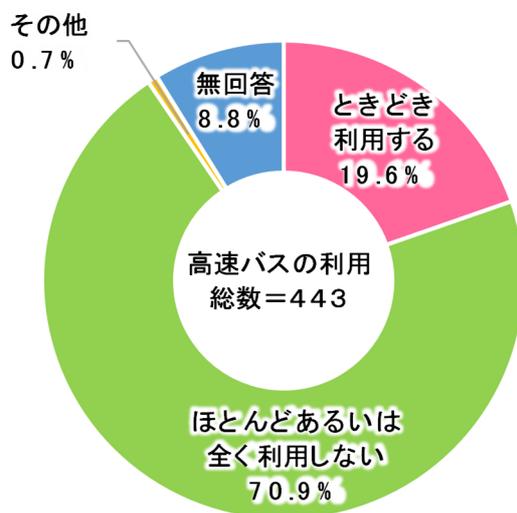
九鬼早田地区、南輪内地区では、利用する割合が他地区より高くなっています。



2. 調査結果

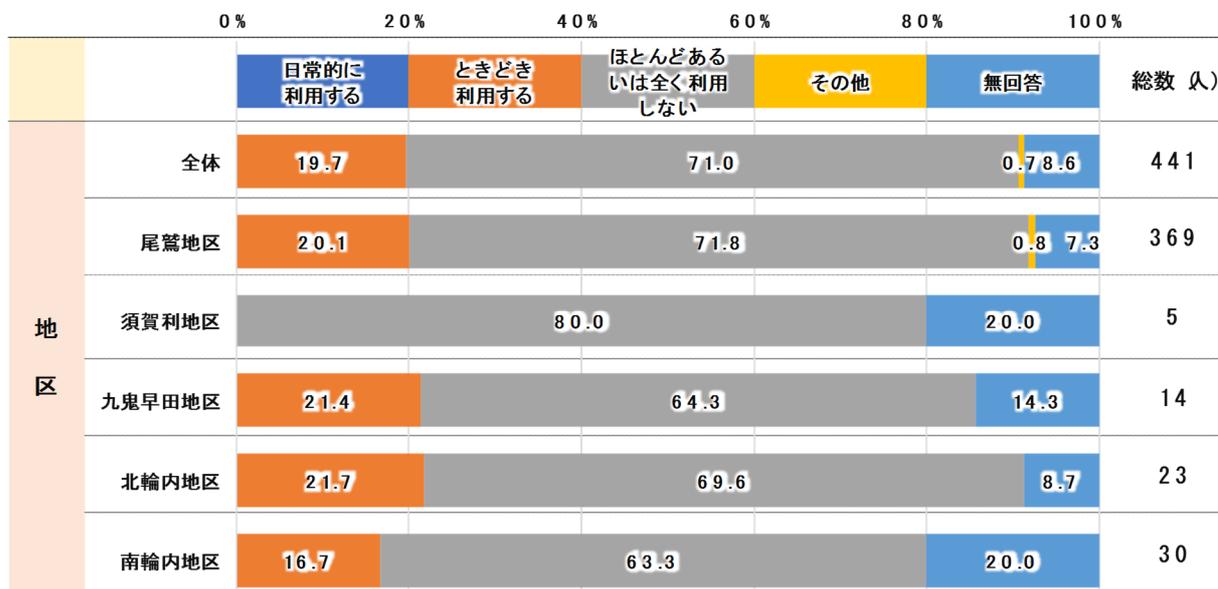
問9 高速バスの利用

最も多いのは「ほとんどあるいは全く利用しない」70.9%、ついで「ときどき利用する」19.6%となっています。



地区別・高速バスの利用

地区による違いはあまり見られません。

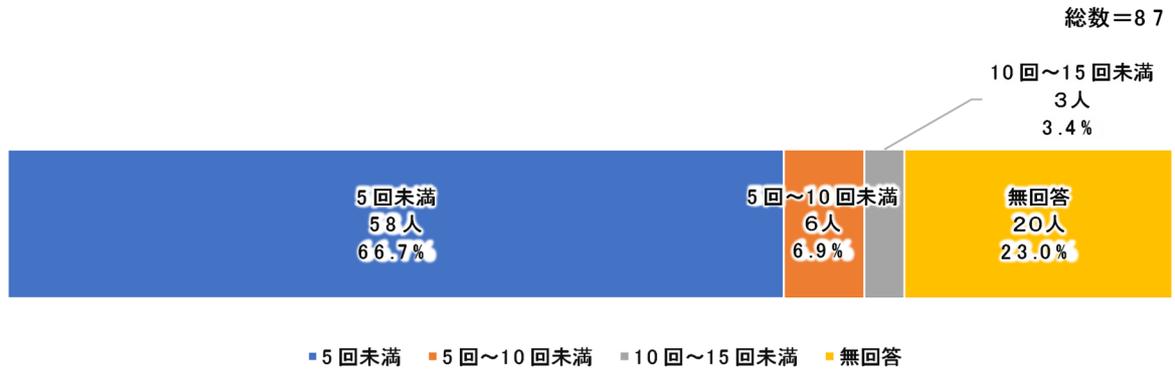


※地区無回答2件を除く

2. 調査結果

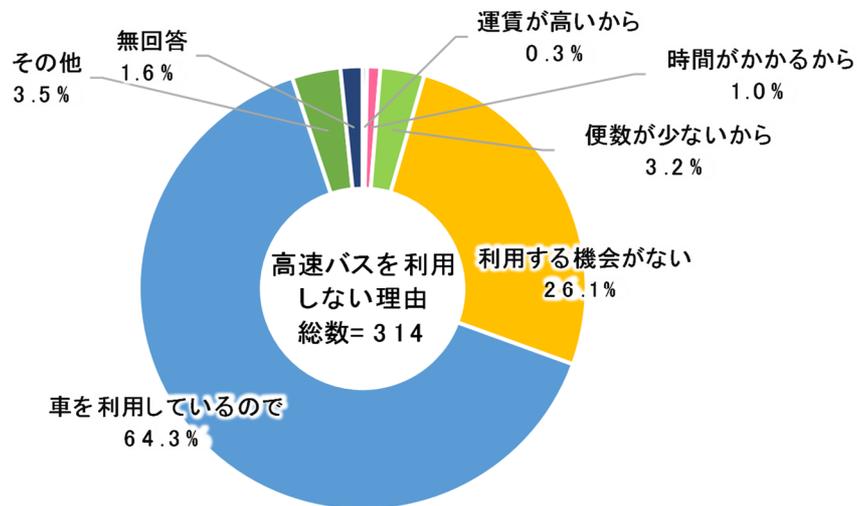
高速バスの年間利用頻度

最も多いのは「年5回未満」66.7%になっています。



問10 高速バスをあまり利用しない理由（ほとんどあるいは全く利用しない人のみ）

最も多いのは「車を利用しているので」64.3%、ついで「利用する機会がない」26.1%、両方で9割以上になります。



2. 調査結果

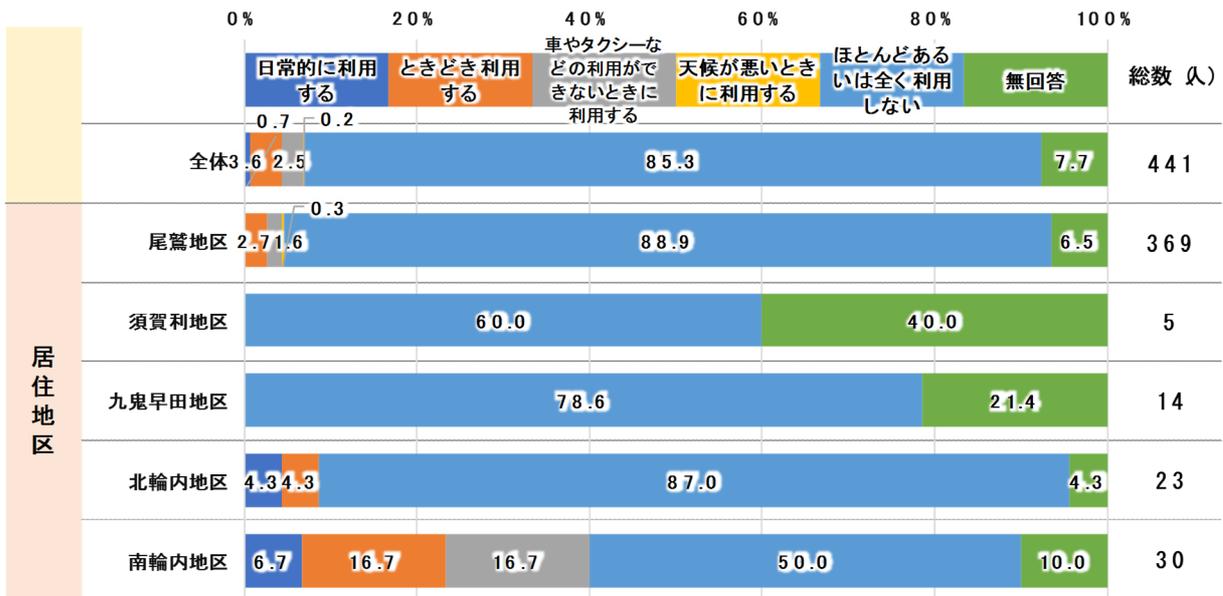
問 11 市内のバス（三重交通の路線バス、ふれあいバス）の利用

「日常的に利用する」「ときどき利用する」「車やタクシーなどの利用ができないときに利用する」「天候が悪いときに利用する」を合わせて、7.0%の人がバスを利用しています。

地域別にみると、南輪内地区では、バス利用率が40.0%と高くなっています。

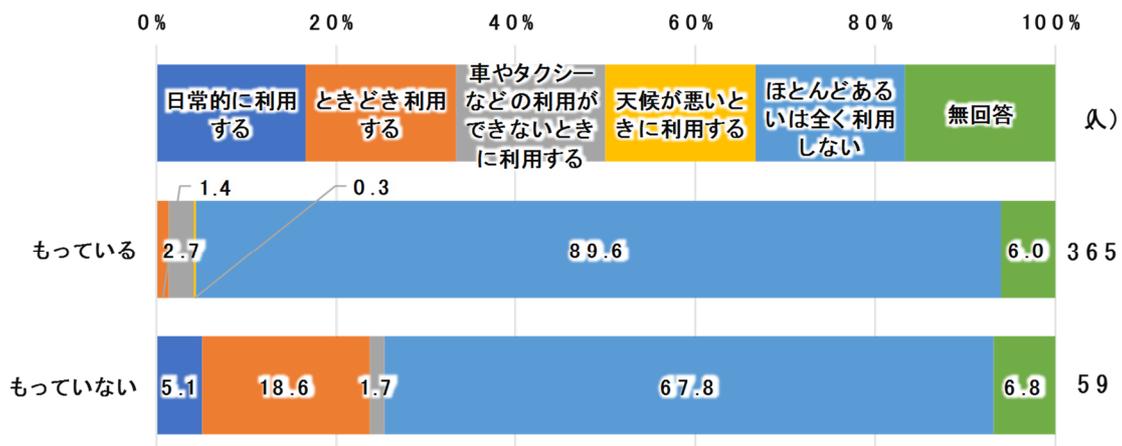
また、免許を持っていない人の25.4%、約4人に1人はバスを利用しています。

地区別・市内のバス利用



※地区無回答2件を除く

自動車免許証の有無別・市内のバス利用

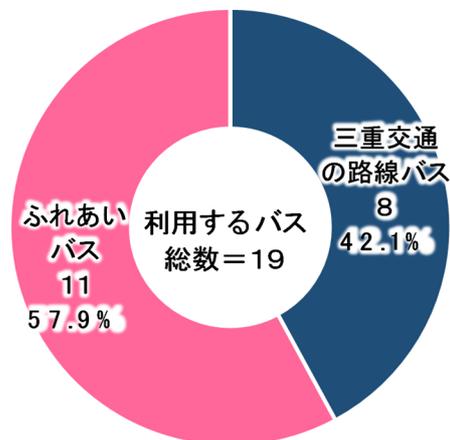


※免許証の有無の無回答19件を除く

2. 調査結果

利用するバス（日常的に利用する、ときどき利用する人のみ）

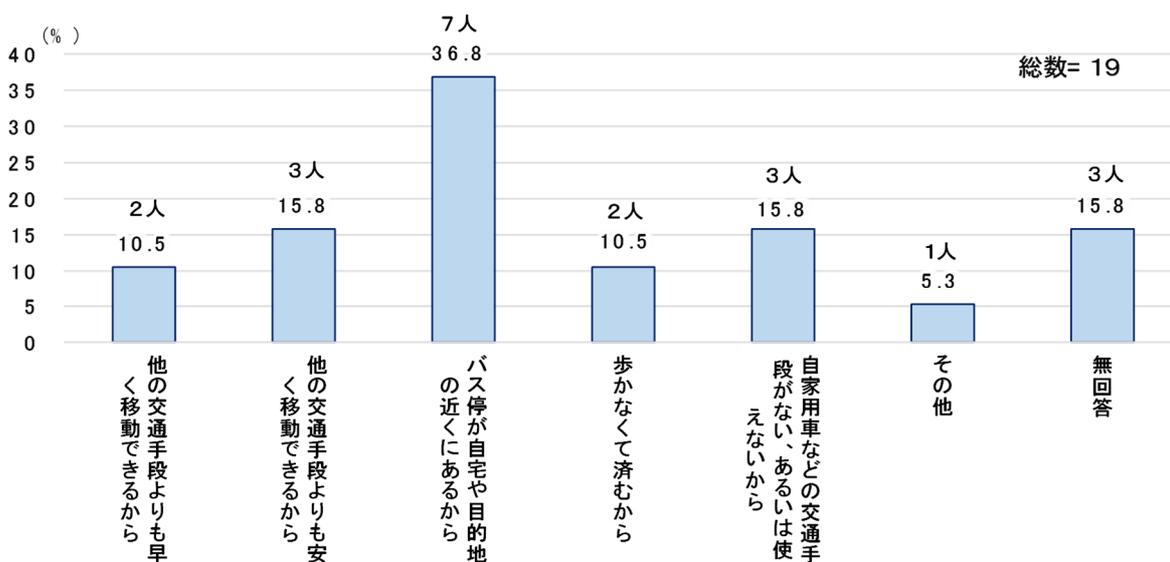
市内のバスで利用しているのは、「ふれあいバス」が11人で57.9%、「三重交通の路線バス」が8人で42.1%となっています。



市内のバスを利用する理由

（日常的に利用する、ときどき利用する人のみ、複数回答）

最も多いのは「バス停が自宅や目的地の近くにある」36.8%、ついで「他の交通手段よりも安く移動できるから」「自家用車などの交通手段がない・使えない」が各々15.8%となっています。住まいの近くにバス停があることが、利用の大きな理由になっています。



2. 調査結果

地域別・自動車免許の有無別市内のバスを利用する理由
(日常的に利用する、ときどき利用する人のみ、複数回答)

総数 = 19

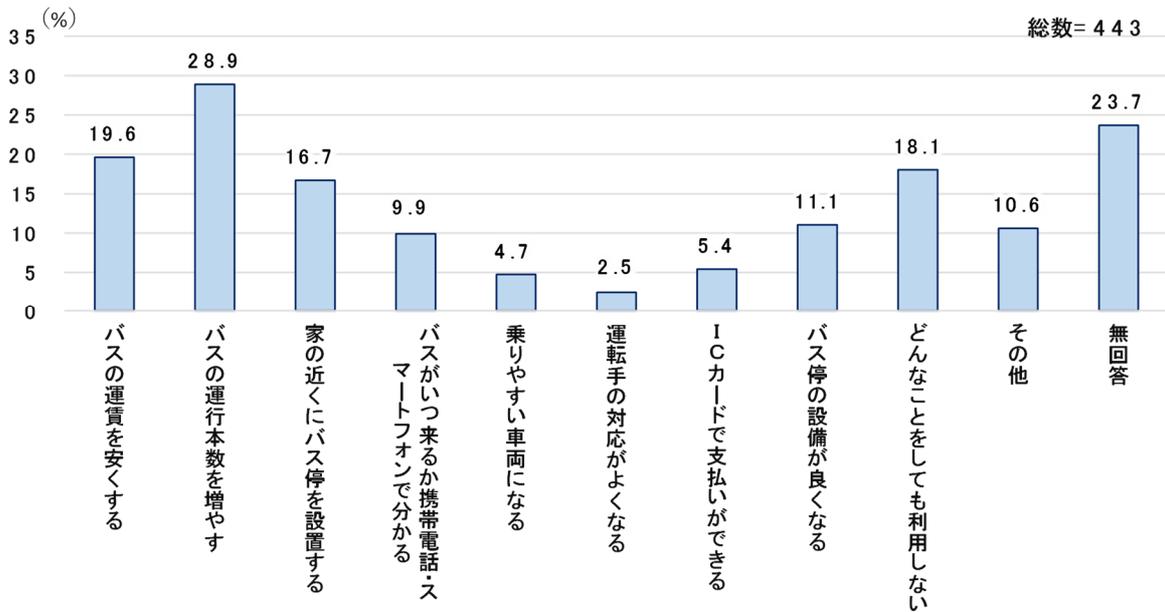
	合計		他の交通手段よりも早く移動できるから	他の交通手段よりも安く移動できるから	バス停が自宅や目的地の近くにあるから	歩かなくて済むから	自家用車などの交通手段がない、あるいは使えないから	その他	無回答
	人	%							
尾鷲地区	人	10	2	2	4	2			1
	%	100.0	20.0	20.0	40.0	20.0			10.0
須賀利地区	人	0							
	%	100.0							
九鬼早田地区	人	0							
	%	100.0							
北輪内地区	人	2		1			1	1	
	%	100.0		50.0			50.0	50.0	
南輪内地区	人	7			3		2		2
	%	100.0			42.9		28.6		28.6
自動車免許をもっている	人	5		1	3		1		
	%	100.0		20.0	60.0		20.0		
自動車免許をもっていない	人	14	2	2	4	2	2	1	3
	%	100.0	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	7.1	21.4

2. 調査結果

問 12 バスをもっと利用するために、改善して欲しいこと（複数回答）

改善してほしいことは、「バスの運行本数を増やしてほしい」28.9%、「バスの運賃を安くする」19.6%が多くなっています。次いで「どんなことをしても利用しない」が18.1%になっています。

バスを利用する機会の多い人ほど、運行本数の増便要望が高くなっています。



2. 調査結果

地区別・市内のバスをもっと利用するために改善して欲しいこと
(複数回答)

総数 = 443

	全体		運賃を安くする	本数を増やす	家の近くにバス停	いつ来るかわかる	乗りやすい車両	運転手の対応	キャッシュレス	バス停の設備	利用しない	その他	無回答
	人数	割合											
尾鷲地区	369	人	72	104	68	40	15	11	23	41	71	37	84
	100.0	%	19.5	28.2	18.4	10.8	4.1	3.0	6.2	11.1	19.2	10.0	22.8
須賀利地区	5	人		1	2							2	2
	100.0	%		20.0	40.0							40.0	40.0
九鬼早田地区	14	人	5	5			1			2	2	1	4
	100.0	%	35.7	35.7			7.1			14.3	14.3	7.1	28.6
北輪内地区	23	人	2	4	2	3	2		1	4	5	3	5
	100.0	%	8.7	17.4	8.7	13.0	8.7		4.3	17.4	21.7	13.0	21.7
南輪内地区	30	人	8	14	2	1	3			2	2	4	8
	100.0	%	26.7	46.7	6.7	3.3	10.0			6.7	6.7	13.3	26.7

市内バス利用頻度別・市内のバスをもっと利用するために改善して欲しいこと (複数回答)

総数 = 408

	全体		運賃を安くする	本数を増やす	家の近くにバス停	いつ来るかわかる	乗りやすい車両	運転手の対応	キャッシュレス	バス停の設備	利用しない	その他	無回答
	人数	割合											
利用する	31	人	8	18	3	1	2	1	3	7	0	4	3
	100.0	%	25.8	58.1	9.7	3.2	6.5	3.2	9.7	22.6	0.0	12.9	9.7
利用しない	377	人	77	109	70	42	18	10	21	42	80	43	71
	100.0	%	20.4	28.9	18.6	11.1	4.8	2.7	5.6	11.1	21.2	11.4	18.8

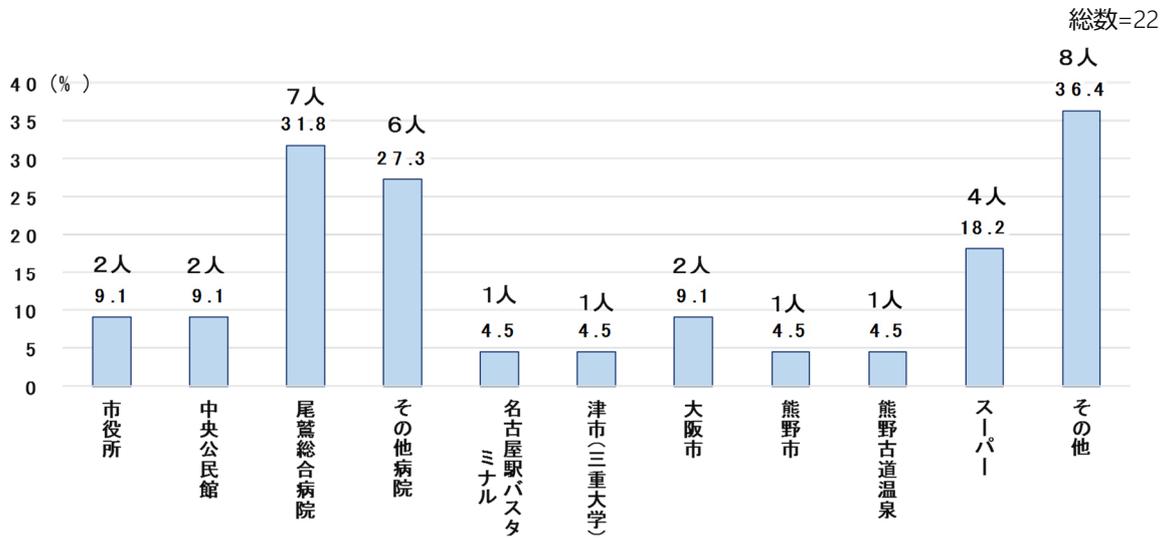
※「利用する」は問11で何らかの理由があれば利用する人を合算。「利用しない」は、「ほとんどあるいはまったく利用しない」を合算。バスの利用に対して無回答35件を除く。

2. 調查結果

2. 調査結果

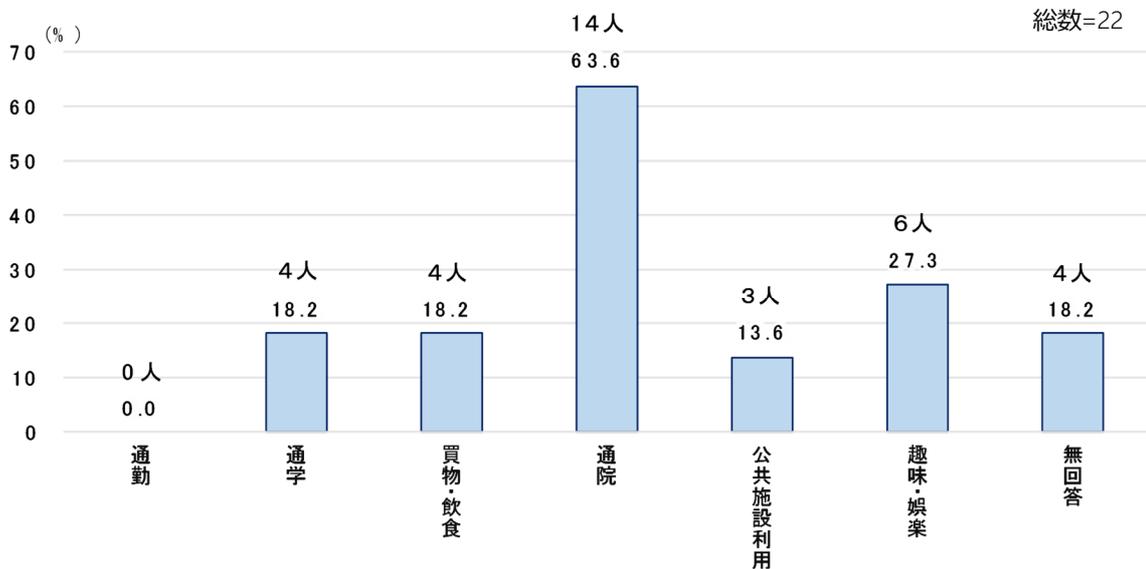
問13 バスを利用して行きたい場所（複数回答）

バスを利用して行きたい場所は、「尾鷲総合病院」が7人で31.8%、市外を含む「その他病院」が27.3%となっており、ついで、「スーパー」が4人で18.2%となっています。



バスを利用して行きたい目的（複数回答）

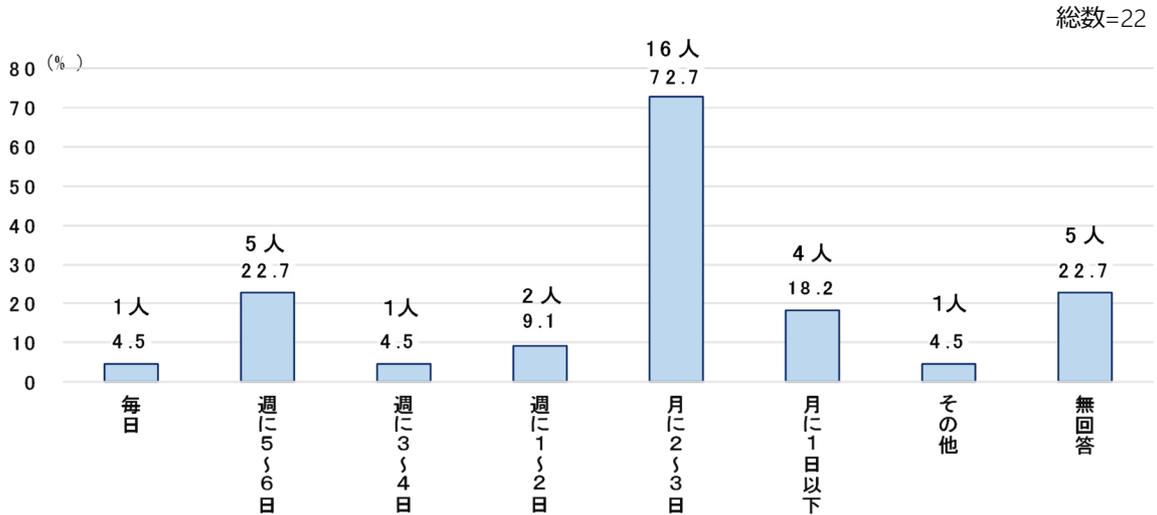
最も多いのは「通院」が14人で63.6%、ついで「趣味・娯楽」が27.3%となっています。



2. 調査結果

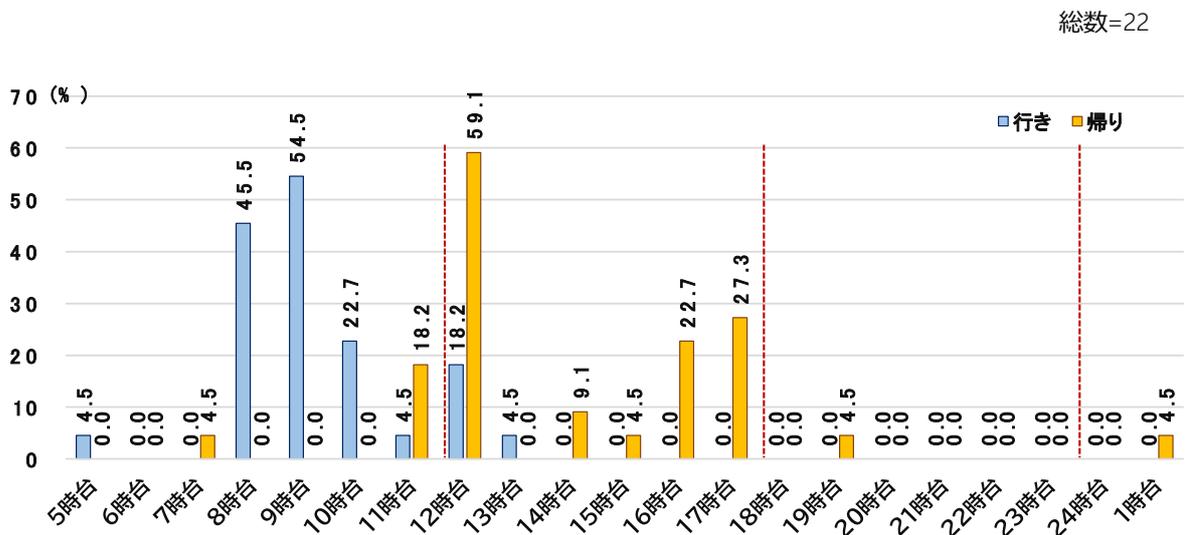
バスを利用して行きたい頻度（複数回答）

「月に2～3日」が16人で72.7%、ついで「週に5～6日」が5人で22.7%と割合が高くなっています。



行き帰り利用時間帯（自由書式）

通院等の利用が多いことから、行きの時間は午前中8時、9時台、帰りの時間は午後12時台がピークとなっています。



2. 調査結果

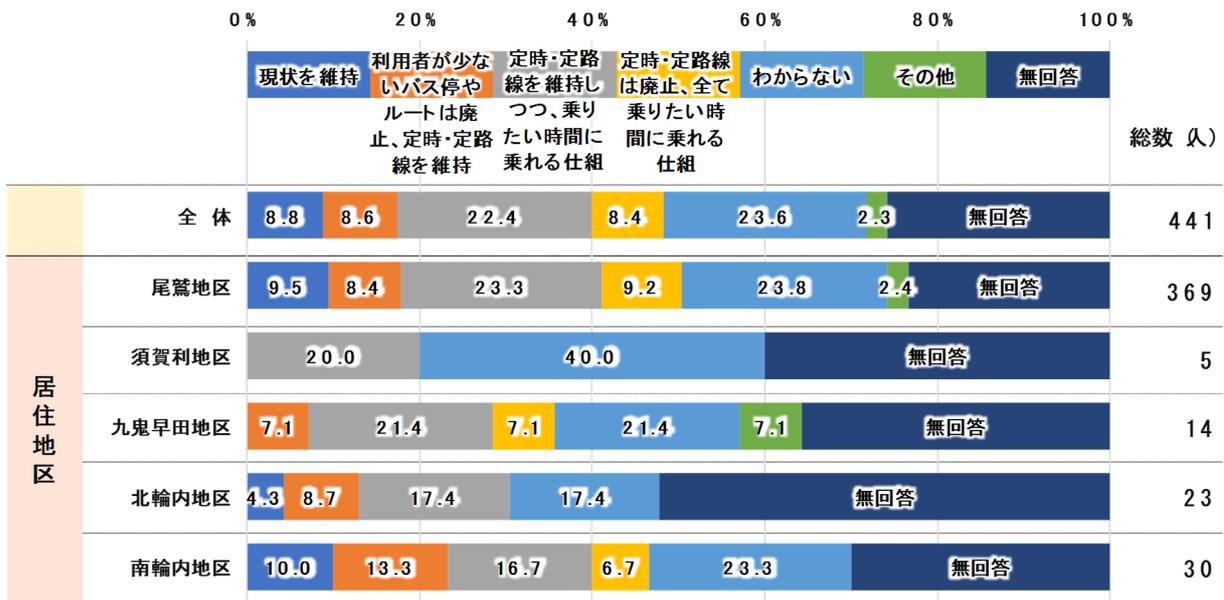
問14 定時・定路線（決まった時間に決まったルート）のバス運行についてどう思われますか

「定時・定路線を維持して欲しい」は全体で39.8%、「定時・定路線は廃止」は8.4%であり、多くの人が現行の定時・定路線を支持しています。

中でも、「定時・定路線を維持しつつ、それを補う形で、乗りたい時間に載れるような新しい仕組みを一部に取り入れて欲しい」が22.3%で最も多くなっています。

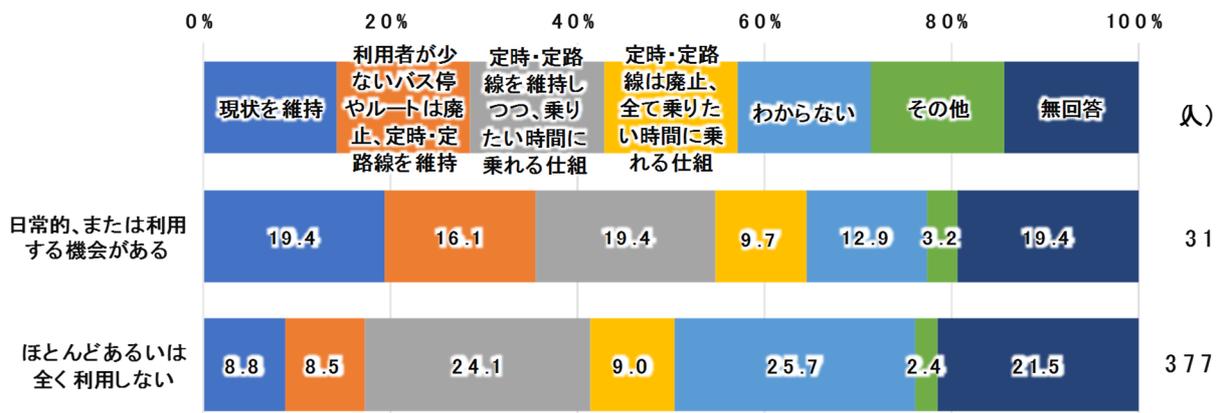
地区別では、南輪内地区では「現状維持」の割合が他地区よりも多くなっています。

地区別・定時・定路線のバス運行についての意見



※地区無回答2件を除く

市内バス利用頻度別・定時・定路線のバス運行についての意見



※市内バス利用について無回答の35件を除く

2. 調査結果

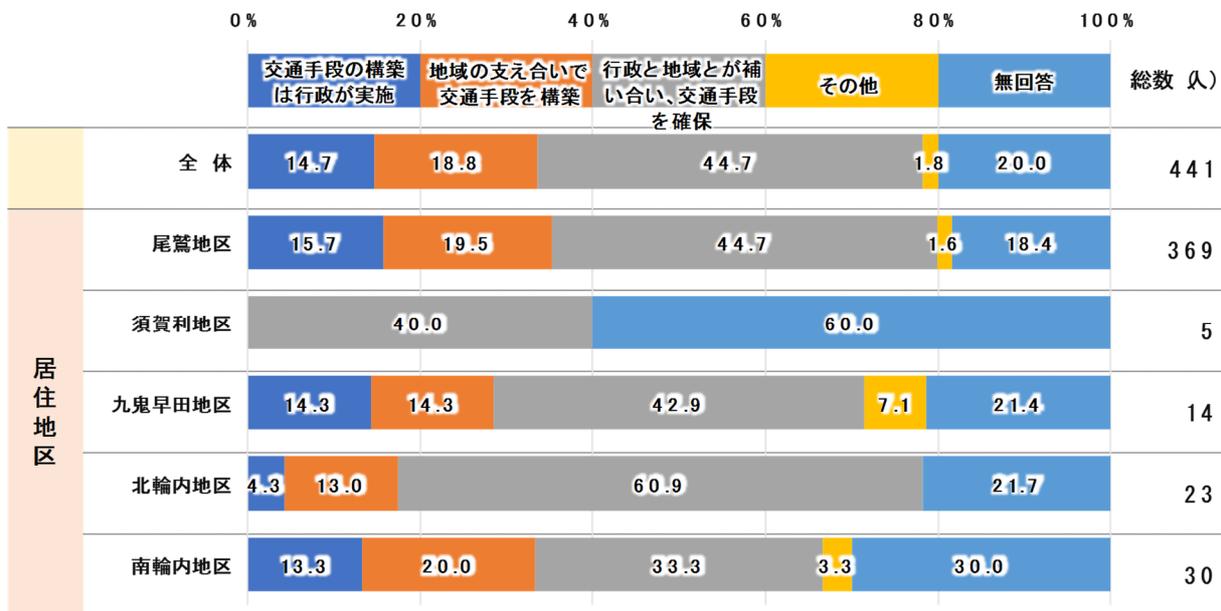
問15 行政のほかに、地域の任意の団体が構築しているデマンド交通の仕組みについてどう思われますか

「行政と地域とがそれぞれ補い合いながら、交通手段を確保していくべき」が44.7%で最も多く、次いで「地域の支え合いで交通手段を確保すべき」が18.7%となっています。合わせると地域団体の力をデマンド交通の手段として取り入れていくことに賛成する意見は63.5%となっています。

地区別には、北輪内地区で60.9%の人が、行政と地域団体でデマンド交通の仕組みを構築していくことに賛成しています。

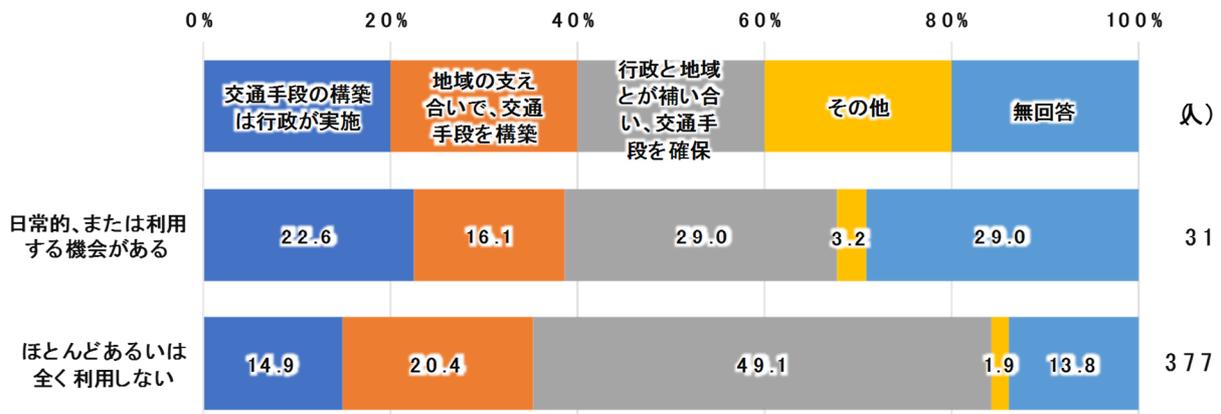
利用頻度別では、「利用している」人は「交通手段の構築は行政が実施すべき」の割合がやや高くなっています。

地域別・地域団体デマンド交通についての意見



※地区無回答2件を除く

市内バス利用頻度別・地域団体のデマンド交通についての意見



※市内バス利用について無回答の35件を除く

2. 調査結果

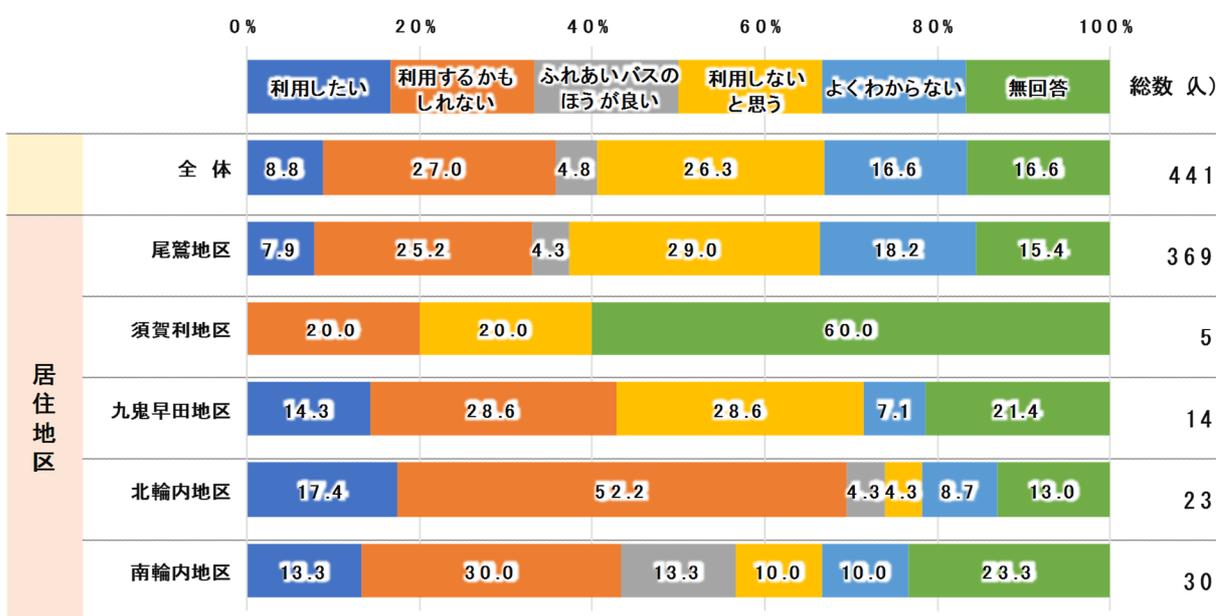
問16. デマンド交通(予約型乗合バス・タクシー)をあなたの地域に導入した場合、利用したいと思いますか

「利用したい」「利用するかもしれない」を合わせて35.9%であり、3人に1人は利用の意向があります。

地域別には、北輪内地区の利用意向が69.6%と高くなっています。

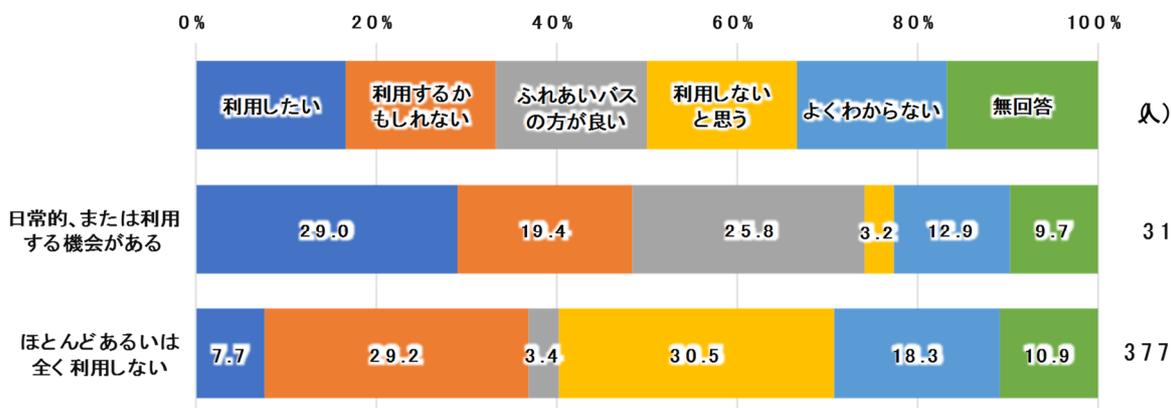
市内バスの利用頻度別では、市内バスを「利用する」人は48.4%、「利用しない」人でも36.9%の利用の意向があります。現在市内のバスを利用している人の約半分、利用していない人の3人に1人は利用の意向があるようです。

地区別・デマンド交通をあなたの地域に導入した場合、利用したいと思いますか



※地区無回答2件を除く

市内のバス利用頻度別・デマンド交通をあなたの地域に導入した場合、利用したいと思いますか



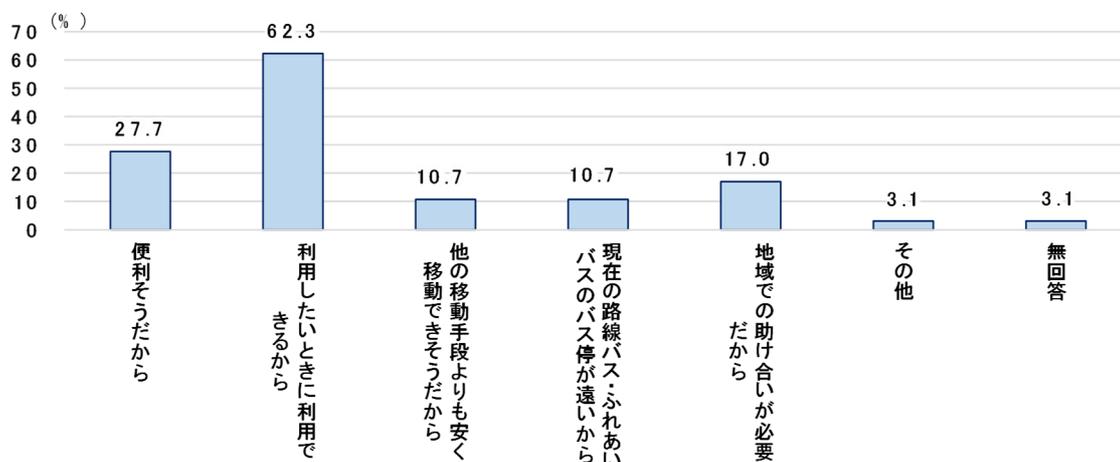
※市内バス利用について無回答の35件を除く

2. 調査結果

利用したい理由（複数回答）

「利用したいときに利用できるから」が62.3%と高くなっています。

地域別でも各地区で「利用したいときに利用できるから」がメリットとして考えられています。



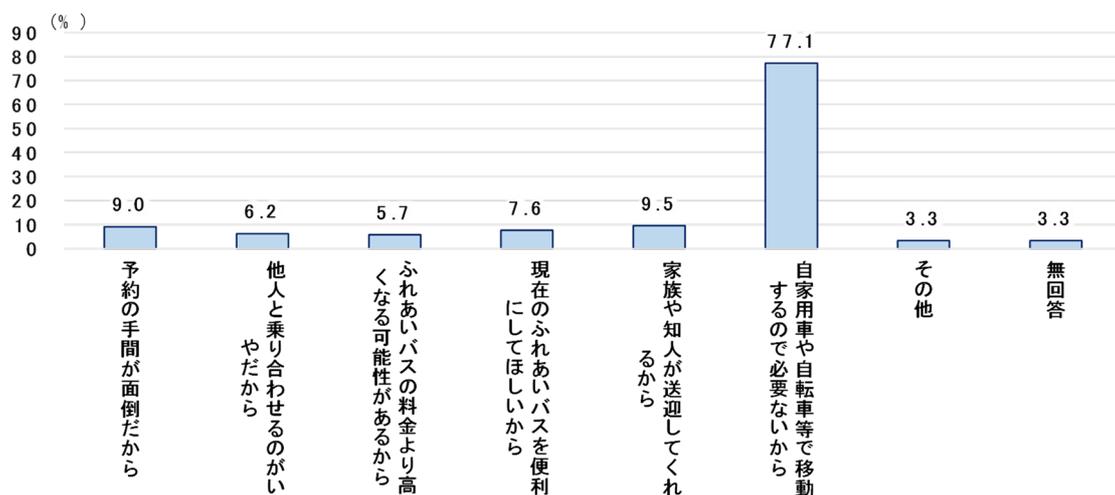
地区別デマンド交通を利用したい理由（複数回答）

		合計	便利そうだから	利用したいときに利用できるから	他の移動手段より安く移動できそうだから	現在の路線バス・ふれあいバスのバス停が遠いから	地域での助け合いが必要だから	その他	無回答
全体	人	159	44	99	17	17	27	5	5
	%	100.0	27.7	62.3	10.7	10.7	17.0	3.1	3.1
尾鷲地区	人	122	33	76	12	14	17	3	4
	%	100.0	27.0	62.3	9.8	11.5	13.9	2.5	3.3
須賀利地区	人	1		1					
	%	100.0		100.0					
九鬼早田地区	人	6		5			2		
	%	100.0		83.3			33.3		
北輪内地区	人	16	4	8	2	3	6	2	1
	%	100.0	25.0	50.0	12.5	18.8	37.5	12.5	6.3
南輪内地区	人	13	7	8	3		2		
	%	100.0	53.8	61.5	23.1		15.4		

2. 調査結果

利用しない理由（複数回答）

全体では、「自家用車や自転車等で移動するので必要ない」が77.1%と高くなっています。地区別にみると、南輪内地区では、「現在のふれあいバスを便利にしてほしい」も30.0%となっています。



地区別・デマンド交通を利用しない、利用するかわからない理由（複数回答）

		合計	予約の手間が面倒だから	他人と乗り合わせるのがいやだから	ふれあいバスの料金より高くなる可能性があるから	現在のふれあいバスを便利にほしいから	家族や知人が送迎してくれるから	自家用車や自転車等で移動するので必要ないから	その他	無回答
全体	人	210	19	13	12	16	20	162	7	7
	%	100.0	9.0	6.2	5.7	7.6	9.5	77.1	3.3	3.3
尾鷲地区	人	190	18	13	12	12	19	150	6	5
	%	100.0	9.5	6.8	6.3	6.3	10.0	78.9	3.2	2.6
須賀利地区	人	1						1		
	%	100.0						100.0		
九鬼早田地区	人	5						4	1	
	%	100.0						80.0	20.0	
北輪内地区	人	4				1		3		
	%	100.0				25.0		75.0		
南輪内地区	人	10	1			3	1	4		2
	%	100.0	10.0			30.0	10.0	40.0		20.0

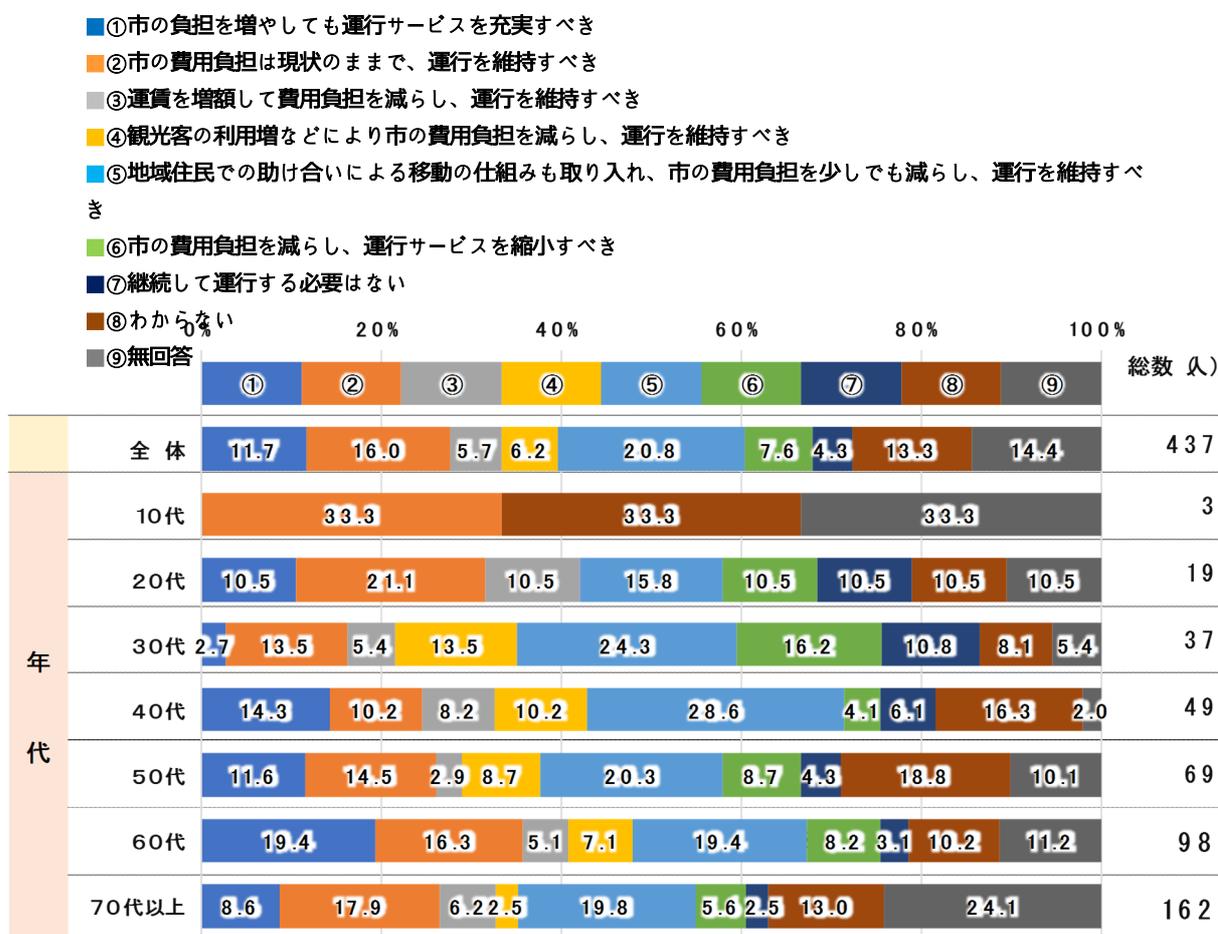
2. 調査結果

問17 市が公共交通の費用負担をしていることについて

最も多いのは「地域住民での助け合いによる移動の仕組みも取り入れ、市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき」20.8%、ついで「市の費用負担は現状のままで、運行を維持すべき」16.0%となっています。運行の充実・維持に賛成する人は60.4%となっています。一方、運行サービスの縮小・必要ないという人は12.0%であり、多くの人が運行の充実・維持を望んでいます。

年齢別にみると、40歳代と60歳代で運行の充実・維持を望む割合が高くなっています。

年齢別・市が公共交通の費用負担をしていることについて



※年齢不詳6件除く

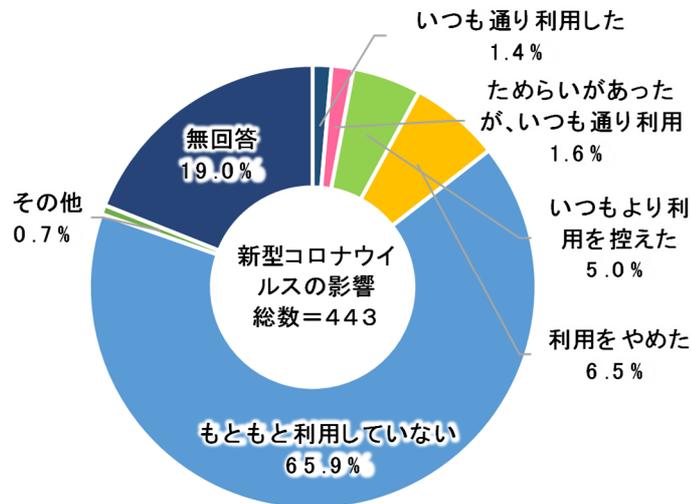
2. 調査結果

問19 新型コロナウイルスの影響について

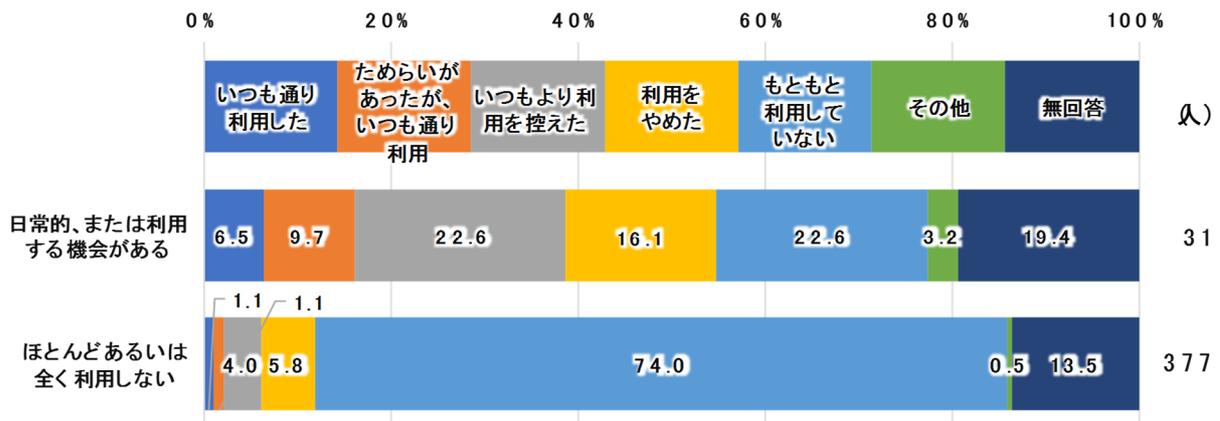
コロナ禍での公共交通の利用について影響を聞いたところ「もともと利用していない」65.9%、「利用をやめた」6.5%、「いつもより利用を控えた」5.0%となっています。一方、「いつも通り利用した」「ためらいがあったが、いつも通り利用した」は合わせて3.0%でコロナ禍は多くの人に影響を与えたことがわかります。

市内バスの利用頻度別でみると、「利用する」人の38.7%が、公共交通の利用を控えたり利用をやめたりしていることが見て取れます。

コロナ禍の公共交通利用への影響



市内バス利用頻度別・コロナ禍の公共交通利用への影響



※市内バス利用について無回答の35件を除く

3. その他の回答

問1 普段、外出されるときに主な目的は何ですか。⑦その他

商活動
移動支援
自分で運転しているの
仕事
家族訪問
部活
市外にある畑での耕作

問2 問1で回答した目的の外出頻度はどのくらいですか。⑦その他

年に1, 2回
その時
週に4~5日

問4 問1で回答した目的地(行先)までの交通手段はどれですか。⑨その他

ふれあいバス
マイクロバス

問5 外出したい時に、JRやバスが利用できない、あるいは不便なので困ること。

(1) どのような目的で外出する時に困りますか。⑦その他

私用
子供の家
友達達との旅行
仕事
出
紀北町、海山のプールに行くとき(帰宅した時、今は施設)

(2) 困るときには、どのようにしていますか。⑥その他

市内は単車のって出る
利用してない
自家用車使用
計画を変更するなどして予定をたてる
現在は自分で運転できるが免許証返納したら困る!

問7 あなたは、JRを利用されますか。⑤その他

高齢のため利用しなくなった(ここ数年)
今は自分で運転してるので
"JRさわやかウォーキング参加時利用
ここ1年コロナで参加できない"
市外、県外の場合

3. その他の回答

問9 あなたは、高速バスを利用されますか。④その他

コロナのため出かけない
家庭の事情により利用していた時期があった
県外の場合

問10 高速バスを利用しない理由はなぜですか。⑥その他

持病がある為
コロナ
JRの方が1本が楽だから
あまり外出しない
今は運転できるからできなくなった時利用したい
乗る必要がない
家族が車に乗せてくれるから
必要ないから
遠出しなくなった
松阪までの高速バスがなくなったから
経済的余裕も無く、余裕があれば映画やボーリング、買い物をする時に利用したいがそれすら難しい

問11 市内のバスを利用する理由はなんですか。⑥その他

どちらも利用しない
自家用車
とにかく八鬼山線しかない

問12 バスをもっと利用するために、改善して欲しいことがありますか。⑩その他

車を運転するので、バスに乗る必要がない
1人に1台車を持つ時代公共交通を利用しない
免許を返納したらふれあいバスを大いに利用させて貰います
今は自分で運転出来るから
コロナのため出かけられない
バスを必要としない(旧市内在中、マイカーあり)
今は車をしているから利用しないのでわからない
車がある
どちらも利用しない
現在自家用車で運転できるので
車に乗るので
名古屋方面はあるけど大阪行きのバスがないので困ります。
今は車があるので利用しない。高齢者になれば利用する。
車が家になかったら利用する
マイクロバスやタクシーの形で本数を増やす)
今は車を運転できるので
ふれあいバスルートの再構築
いずれ車がなくなれば利用すると思う
歩くので考えたことがない
車に乗るから
わからない
今のままで良いと思います
市内コースがわかりづらい

3. その他の回答

体のふらつきがとれないので1人で乗り物にのれる自信がない
必要だろうが何か技術的に見返す必要があるのでは
利用する必要がない、車か徒歩でOK
改善してほしい事がない
足が悪くて利用できない
運転している間は利用しない
今は自家用車ですが年齢が高くなれば利用するかも
玉城町のように各施設のPCからどこからもバスを呼ぶことができるようにしたらと思う
ショッピングセンターの近くにバス停を設置する
現時点では車の運転ができるから必要ないけど将来は利用するかもわからない
バスの運行方向が少ないので違うルートがあってほしい!
バスを乗らないからよくわからない
あと10年運転できるから
最終時間の遅い時間をつくってほしい
利用したことが無く、分かりません
自分で車で行く今のところ
今のところ、自分で運転している為利用していない
車、単車、自転車運転できる為
今はまだ車に乗れますが年をとったとき買い物や病院に行きやすい路線があるとよいと思います

問 13. 現在は三重交通バス、ふれあいバスが運行していないけれども、新たに運行されれば、利用したい行先がありますか。

A 利用目的 ⑦その他

友達に会う
新しいルートを作ってほしい (新田にはふれあいバスが行っていて泉にはない)
高齢者のタクシー利用補助チケットにかえる
市で支援すればよい
高齢者が利用しやすい仕組みを考えてほしい
市の運営格安タクシー希望
バスは必要?
前もって予約
少ないルートは廃止し、時間帯の見直し
バス停を増し利用度を上げる巡回

B 利用頻度 ⑦その他

適時

問 14. 定時・定路線の運行についてどう思われますか。⑥その他

新しいルートを作ってほしい (新田にはふれあいバスが行っていて泉にはない)
高齢者のタクシー利用補助チケットにかえる
市で支援すればよい
高齢者が利用しやすい仕組みを考えてほしい
市の運営格安タクシー希望
バスは必要?
前もって予約
少ないルートは廃止し、時間帯の見直し
バス停を増し利用度を上げる巡回

3. その他の回答

問 15. 行政のほかに、地域の任意の団体が構築しているデマンド交通の仕組みについてどう思われますか。

④その他

わからない
特に必要なし
いらぬ
今のまま
人口の少ない集落を廃村して市内に人口を集中させインフラの無駄を省く。市営住宅の充実。

問 16. デマンド交通（予約型乗合バス・タクシー）をあなたの地域に導入した場合、利用したいと思いますか。

(1) 利用するかもしれない ⑥その他

今は車を運転しているが高齢なので免許返納したら
自宅近くで乗車できるし、利用したい時間に利用できるから
足が悪くてバスにのれないから
高齢化により免許を返納した時

(2) 利用しない ⑦その他

現時点では⑥（自家用車や自転車等で移動するので必要ない）だが今後のことを考えると不安大きい
現在自家用利用
感染症対策面で難しいと思う
タクシーを使う
今の所は自分で行けるが、数年後には必要になるとは思いますが、...
今まで利用したことがない

問 19 新型コロナウイルスの影響について

⑥その他

あまり利用してない
現在施設でお世話になっています
行き先がストップになり電車に乗らなくなった

3. その他の回答

問 18 どのような公共交通であれば利用したいと思いますか（自由記載）

安心・安全

小さな子どもでも安心のることができる。	女性 50 代
安心、安全。	男性 60 代

増便

J R を利用しにくいのは、帰りの便が少ないため、使わないようになってしま う。やはり便が少ないと時間に合わせて利用できないので不便で使わなくなっ てしまうと思う。	女性 70 代
普段は自家用車で移動しているため、公共交通を利用する機会はないが、子ど もがどこかに出かけたり、利用したいと考えた時でも、バスや J R の本数があ まりにも少なく、利用できないことがあった。本数を増やすことは難しいのか もしれないが、せめて 1 時間に 1 本くらいないと、なかなか利用しようとは思 えない。	女性 50 代
普段は車を利用し公共交通は利用しませんが、利用するならば利便性です。ど うしても 1 時間に 1 本 2 時間に 1 本などの公共交通は時間の無駄です。本数が 多いと利用しやすいです。	男性 50 代
都市部の地下鉄ぐらいの便数なら利用するよ？(笑)バスを尾鷲市街まで走らせ る。そうすると JR への接続時間が合わない。JR を維持したいの？三重交通を維 持したいの？バスと JR の連絡がうまくいってないのは本末転倒じゃないかな？	男性 30 代
電車が増えれば使うかも。	男性 30 代
運行本数が多い	女性 30 代
時刻表の見直し。時間の待ち時間を少なくする。尾鷲はまっている所がない！ それで 1～2 時間待たされたり、夕方以降の便も少ない又はないから松阪まで 行くしかない。ほしい時間帯にないのも 1 つ問題です。	男性 60 代
便数が多くなると良い。	女性 70 代
本数が多い。	男性 60 代
運行本数増。	男性 40 代
バスの小型化し、回複数線を増加。	男性 70 代
巡回回数を増し利用度を上げる	女性 70 代
1 時間に 1 本ではなく、もっと何本かあれば・・・	女性 60 代
運行本数多。	女性 40 代
現状では自家用車が無い世帯は公共交通を利用するしかないが、本数も少なく 非常に利用しにくいと思う。高齢者から学生まで利用したい時間（朝、夕）だ けでも充実させてほしい。	女性 50 代

3. その他の回答

運行時刻

問17の様な費用の事もあるので何も言えないが時間帯によって利用客数にもよるとは思います。今までと同じ本数しか出せないのであれば利用客の多い時間に合わせ行くしかないのでは？費用問題が必要ですから。	女性 70代
地域が利用しやすい時間など設定する	女性 50代

乗り継ぎの利便性

乗り継ぎ時間のタイミングが良ければ利用する。	男性 50代
------------------------	--------

運賃

低料金	女性 40代
安く気軽に利用できる。	女性 50代
運賃が安い。	女性 30代
運賃が安く便利になったら。	男性 60代
運賃は高くなってもしょうがない	女性 70代

バス停（数と設備）

目的近くで乗り降りできる。	女性 50代
バス停が近い。（今は遠い）	女性 70代
雨の時でも待ちやすいような場所が欲しいと思います。	女性 20代
市内のバスは常に巡回していて乗りたい時に乗れ、降りたいところで降りれる。しかも料金が安ければ気軽に使ってもらえると思う。	女性 50代
自宅に近い公共交通。	女性 30代
乗降場所の設定と必要に応じた運行。	男性 60代

バスルート（高速バス、市内バス、直行便など）

光が丘方面、古道センターへの本数がもっとあれば利用する	女性 40代
個人的な意見ですと、少しでも景色が綺麗なところを通るのであれば特に用事がなくても公共交通を利用したいと思います。	女性 20代
1週間に2回後病院回りとか買い物回りとかあれば嬉しいです。同じく夢古道直通の温泉にも行きたいです。	女性 70代
市民病院への行き帰りのバスだけは必要だと思う。体が弱くなったり悪くなればバスがなければ通院できなくなってしまいます。	男性 70代
大阪行き的高速バス。	男性 50代
目的地まで直行してくれて乗っている時間が短い方が利用しやすいです。	女性 40代
月に1回でも乗り継ぎなしで梶賀町スタートで直通で何時間かかってもいいから長島駅までいけたら夢の実現のように思います。	女性 60代
例えば名古屋行き的高速バスを長島スパランドを経由してみる。	女性 30代

3. その他の回答

通勤・通学の利用

中学生の通学用に一ヶ月定期とかあれば良いのではないのでしょうか。	女性 50代
中学、高校へのスクールバスとしての利用があれば定期購入して利用する	女性 40代
通勤、通学は遅刻などの問題があるためその問題を解決しない限り利用は難しいと思います。	男性 30代

サービスの向上

愛想の良い運転手さんは必須ですね！今は？	女性 60代
サービスが第一と考える。	男性 70代
車を保有している人に公共交通を利用してもらうのは正直難しいので、高齢者か観光客の方を中心に考えた公共交通作りをしていくとよいと思う。たとえば、高齢者の方は通院や買い物のために利用することが多いので診察時間に合わせて本数を増やしたり、買い物をした荷物を運ぶのを手伝ってもらえるような仕組みを作り、作るだけでなくそのようなサービスがあることを地域の人に知ってもらうことが大切だと思う。	女性 20代
利用したくなるには、料金が安い、本数が多い、路線を増やす、バス停だけではなくタクシーのように手を挙げればどこでも乗れる下車できる制度の導入。	男性 60代

地域の取組

地域毎に8人乗りぐらいの車を保有し、地域の人に委託し、運営してもらう（車の管理、ガソリン代は市が補助する）	女性 50代
---	--------

観光

通常の路線運行プラン観光バス例えば4月なら花見バスなど、お弁当付きとか通常バスの中で乗車する。曾根から梶賀へ行く見は桜が多く植えている路線内のできる。いろんな仕掛けができると思う。	女性 60代
熊野古道に来る方が利用しやすいようなルートの運行をすればいいと思う。小中学校を最低限に（統合して）スクールバスとして朝・夕運行すればいいと思う。	男性 40代

デマンド交通

デマンド交通を基本的な考えとした公共交通でいいと思います。	男性 50代
気軽に簡単に予約でき、自宅近くで乗れるといいと思います。	女性 40代
デマンド交通。	女性 70代
デマンド交通のようなものを。	男性 70代
今は利用しないが年をとって免許証を手離したらデマンド交通があれば便利だと思います。	女性 50代

3. その他の回答

タクシーのような自由に利用でき、運賃が安い交通手段があれば有難いですが・・・	女性 70 代
都会のように公共交通を利用する機会がなくて今後高齢社会になると買い物、通院で利用する機会が増えます。年金で暮らしてる中で、この先やっていけるか不安があり「デマンド交通」に興味があります。	女性 60 代
デマンド交通の導入もありがたい。	男性 60 代

夜間の運行（運行時間の延長）

もう少し夜も運行してほしい。	男性 60 代
自分が働いている時間に動いていれば利用できますが夜遅くまで働いているので、帰りに動いていれば・・・	女性 60 代

分かりやすい時刻表、運行経路等（掲示物）

市民にしっかりわかりやすい運行経路、時刻表がみやすい工夫等。今のふれあいバスは経路や時刻表がすごく理解しにくいです。	男性 40 代
公共交通（ふれあいバス）に対してのわかりやすい表示PR（時間表、ルート、料金等）高齢者にもよくわかるものを提供してほしい。	女性 70 代
ふれあいバスはお年寄りしか乗れないと思っている市民が多いです。私もその1人です。	女性 60 代

その他

時に高齢者が便利に利用できる（いつでも）公共交通を作るべき。	男性 60 代
車の運転できない人、高齢者、障害者、幼児のいる方達が公共施設を利用する場合のコースを充実する。	女性 60 代
みんなが笑顔になる交通	男性 70 代
地下鉄。	男性 50 代
自家用車で移動するので私は必要ない。	男性 30 代
いつも自転車と歩き、JR、タクシーを利用しています。	女性 60 代
現在は免許（運転）を持っているので不便はありませんが近い将来必ずバスを利用して出掛けなければいけません。幸い近くにバス停がありますので運行時間合わせた行動をとりたいと思います。どうしても無理な場合はタクシーを利用して帰りはバスを利用したいと思っております。車は運転に自信がなくなりましたので最近廃車にしました。現在単車のみです。	女性 70 代
今は必要ないからわからない。	男性 50 代
今の生活なら自家用車と徒歩がいい。将来はわからない、引っ越すかもしれない。	男性
通勤、通学、観光などでバスを利用することはまずない。利用者の年齢層、目的と考えて運行を考えるべきである。	女性 30 代

3. その他の回答

個人的には自家用車で移動するので公共交通のことは浮かばない。	男性 70 代
今は運転ができますが、運転ができなくなった時には時と場合によっては公共交通を利用したいと思っております。	女性 70 代
JR、三重交通。	男性 60 代
問 12、13 のようなアンケート等により改善がなされ目的を達成するための手段として公共交通を選択することができれば利用したいと思う。	女性 40 代
現在、自家用車で出かけている。又、近くに公共交通（バス）が来ているのでイメージが浮かばない。	女性 70 代
当然ですが利便性があれば利用していきたいです。	男性 30 代
高齢化が進んでいるのだから、公共交通の需要は、これから増えて行くと思われる。公共交通を使う人が少なくなってきたから、公共交通がどんどん不便になっていく。不便だからますます公共交通を使わない人が増える。今の状態は悪循環である。利用しやすい公共交通とは都会のように数分に 1 本、便があるような便利な公共交通である。このまま公共交通の不便が続くと、お年寄りは外出できなくなり、フレイルの状態になる人が増えていくのではないだろうか。	女性 60 代
自家用車を利用する為、利用しないと思います。	男性 30 代
今の所必要を感じない	女性 70 代
最近人口の増えている高台地域の公共交通が少ないので駅まで遠く、将来自分が運転できなくなる時に、このままでは不便になると不安です。全地域に乗り合いできるような小さいバスで良いのであれば安心します。	女性 40 代

3. その他の回答

問 20 ウィズ・コロナ、アフター・コロナに向けて、また今後の感染症に対して、どのような対策があれば、安心して公共交通を利用できると思われますか（自由記載）

キャッシュレスなど支払いについて

ICカードで支払いができるようにする。	女性 30代
キャッシュレスになるよう回数券などの使用、利用出来なかった分は払い戻しできるようにする	女性 50代

一般的な感染症対策を講じる（マスクの着用、消毒の徹底、3密の回避、換気など）

PCR検査の充実。	女性 70代
ワクチン接種前提でこれまで通りでよい。	男性 70代
対策というよりはワクチン接種が普及するまで、安心して公共交通が利用できないと思います。	男性 50代
ワクチン	女性 70代
ワクチンの早期接種 特効薬の開発	男性 50代
ワクチン接種後	男性 70代
1人1人氣を付けてマスクは絶対忘れない事。	女性 60代
コロナは大変であるが負けてはならない。マスクを必ず装着して利用を義務化。	男性 70代
マスクの着用者が少ないのにはびっくりします。1人1人が気を付けて行動しないとダメです。	女性 70代
乗降時の手指消毒	女性 40代
マスク着用の徹底。	女性 40代
マスクと手洗いをしっかりする。これにつきると思います。	女性 60代
マスク、消毒の徹底（利用者、乗務員共に）	女性 50代
市の注意点を守る事、マスク、手洗い、消毒、まず「うつらない」「うつさない」	女性 70代
今行っているマスク、アルコール消毒を継続していくことだと。	女性 50代
今、手にもってウイルスを殺菌するようなライトがありますが、そのようなライトを開発して入り口に取り付けてもらえるようになれば、安心ですが。	女性 60代
消毒をしっかりしてもらえばよいと思う。	女性 70代
換気、消毒。みんなの意識改革。	女性 50代
消毒、換気を行う。	女性 30代
利用してないのでわからないが検温、消毒など徹底したら良いと思う（乗車前に）。	男性 70代

3. その他の回答

除菌スプレーのひとふりでもいいので、除菌対策がなされているなら安心です。	女性 20 代
乗車時は必ず手指消毒する、車内乗車した人が自由に拭けるよう除菌ティッシュをおいておく	女性 50 代
安心して乗れる様に徹底した消毒を願います。消毒液の充実が必要です。	女性 60 代
消毒液の設置	女性 30 代
密をさけることが一番！ですが、一番難しい。換気と乗り降り時の消毒などできれば除菌もしてその為のゆとりのある時刻表をつくる。	男性 60 代
飛沫の防止の為、会話を控えてもらう	女性 30 代
乗員間のスペースが確保されている	女性 30 代
満員でない（となりに他の人がすわらない）	女性 70 代
自己の対象で行ける。	男性 50 代
感染防止対策の徹底しかないと思う。	男性 70 代
換気がしっかりできている。	女性 50 代
換気、清掃機	男性 60 代
窓を開けるなどして換気を心掛ける。	女性 30 代
換気	女性 30 代
今でも万全の感染症対策されていることテレビ、新聞などでお聞きしますが、この他の対策は思いあたりません。	女性 70 代
車内の換気をしっかりしてほしい。抗菌、抗ウイルス加工をしてもらえればなお安心できる。消毒の徹底。乗客 1 人 1 人もマスク、消毒などのルールを守る。	男性 40 代
テレビで言ってる様に消毒をしてマスクをして仕切り板をして黙乗すれば利用できると思います。	女性 70 代
自家用車のため、これから先も公共交通を利用する機会はほぼないと思うが、どこの店舗もやっているように、入り口に消毒液を置いたり、換気をよくしたり 1 人 1 人がマスクをしたり…当たり前のことをやっていくしかないんじゃないかと思います。	女性 50 代
席の間隔をあけてくれると安心。換気、パーテーションの利用、消毒の徹底、成マスク着用の義務化。	女性 70 代
急を要することがあり、コロナ禍にも JR を利用することがあった。駅員さんは、とても親切でワイドビューの指定席には乗客がほとんどいない車両を指定してくださった。おかげで、感染を心配することなく快適に移動することができた。帰りは、普通列車に乗ったのだが、停車するごとにドアを開け、換気がなされていた。公共交通は感染に関して、対策をしてくれていると感じる。	女性 60 代

3. その他の回答

今もそうだと思いますが、マスクの着用や乗車前の手指消毒、おしゃべりを極力控えてもらう、席はなるべく離れて座ってもらう、換気など基本的なことを続けていくしかないと思う。	女性 20 代
各々 1 人 1 人が自分の出来ることをする。	女性 60 代
換気が十分、飛沫の飛ばない環境。	女性 20 代

講じているコロナ対策の情報発信、感染症に関する情報発信の徹底

目に見える消毒。何時にどこを消毒しましたとか何を使用しているとかあれこれと。	女性 60 代
中平クラスターのような事例があれば事前に公表してほしい。	男性 60 代
車内をこまめに消毒すること。もししているのであればそれを公にすることだと思う。まだ知らなくて安心できてない人もたくさんいると思う。	女性 10 代
速やかな情報の公開	男性 70 代
どのような対策を講じているかわかるようにすることで利用する、しないの判断がしやすくなる。	男性 40 代

利用者、市民の意識改革、啓発

公共交通のバスや J R の車両が原因で感染はしないと思います。利用する人々が意識を高めて大きな声で話したり飲食をしたりしない等、混みあわないようにする等、注意喚起に努めてほしいと思います。	女性 70 代
対策よりかは市民の目や噂をなくせば安心して利用できると思います。	男性 30 代
ルールを徹底（例えばマスク着用、検温）した上での乗車、公共であることの認識を深めた上での運用－啓蒙活動が大事	女性 70 代
また、帰宅後に手洗いをするよう促すポスターなど衛星に関するポスターを貼って改めて意識してもらうのも良いのではないかと。	女性 20 代

乗合しない公共交通

乗り合いではなく、1 人で乗れる。	男性 50 代
-------------------	---------

公共交通の廃止

全線廃止。	男性 30 代
-------	---------

公共交通を利用しない

高齢者なので今後も感染のリスクの高い行動はしないと思うので公共交通は利用しないようにします。	女性 70 代
再び感染が発生する恐れがあるかも知れないためできるだけ利用しない。	女性 70 代
大型バスは不要（僻地は別）	女性 70 代
利用しない為特になし	男性 30 代

3. その他の回答

その他

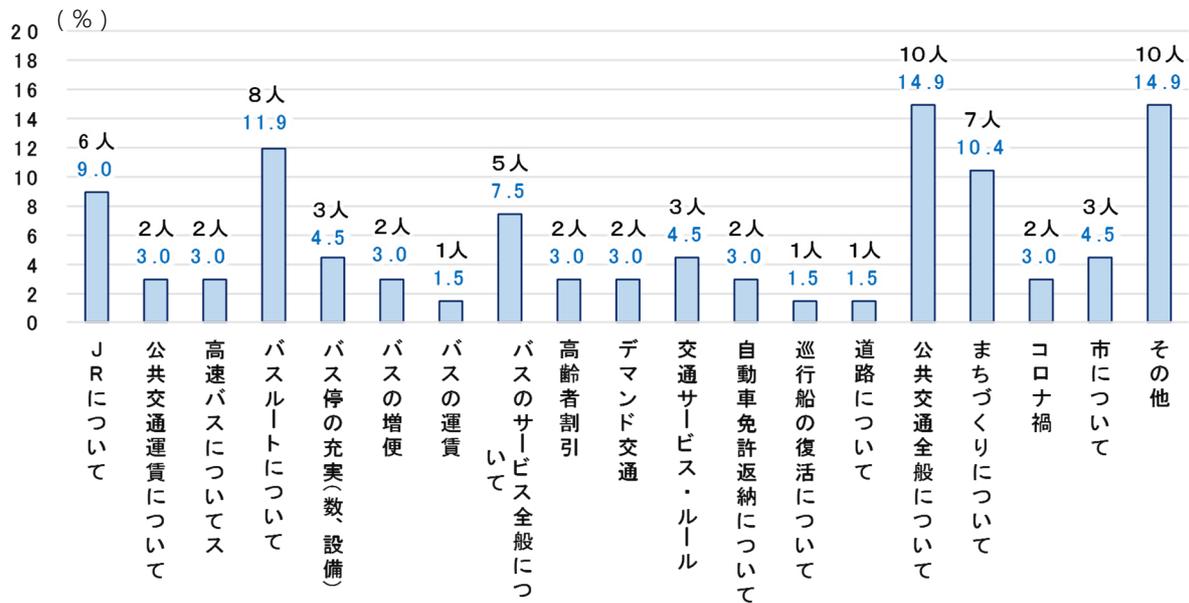
わからない。	男性 50 代
分からない。	男性 70 代
現状が不明なのでわからない	女性 70 代
今どのような対策をしているのかがまず情報としてわからないのでそれを知ってから考えたいですが。	男性 40 代
バスに関して縮小すべきで移動せず在宅でほとんどのサービスの受けれる社会を目指す方が大事だと思う。（基本的には自家用車を保有している方が多いので）	男性 30 代
ステイホームで市民全員が我慢する他はないと思う。こういった今迄の生活をできない状況が生じた場合は行政としてできることはしていただいて、個人の動きまで行政が負うべきではないと思う。	男性 70 代
どのような対策をしてもコロナはなくなる	女性 70 代
コロナはおそろしいです。早くコロナはなくなってほしいです。	女性 70 代
ペットがいるので感染した時の不安です。	女性 50 代
早く三重県を 0 にしたい。1 人 1 人が気をつけてほしい。	女性 70 代

4. 自由記述

最終設問の自由意見については、67 人から 72 件の意見が寄せられた。公共交通全般についての意見や感想が多く見られたほか、JR については、増便、運賃についての意見が多かった。バスについては、ルートやバス停の充実について望む声が散見された。

また、回答者自身は現状公共交通を利用していないものの、今後の利用を見据えた不安についての意見や、現在利用している高齢者に対し配慮のある意見も多く見られた。

総数=67



JR について (本数、運賃など)

JR の運行を増やしてほしい。	男性 50 代
まずコロナが治まってからのことですが、名古屋や松阪方面に行っても何時間に 1 本しか出てないのでごく不便です。もっと本数を増やしてほしいです (グリーン車は誰も乗っていないので、ムダだと思います)	女性 60 代
JR について本数が少ないのもう少し本数があれば良いと思います。(紀伊長島～新宮間又は紀伊長島から熊野間) の運行増加が可能であれば希望したいです。ワイドビューが上下各 1～2 本増えるとありがたいです。	女性 40 代
電車の本数があまりにも少ない。どうしても車になってしまうが高齢になっていく中で車に乗れなくなった時に不安を感じる。	女性 60 代
高齢者にとって市外へ (関西、名古屋方面) の移動は公共交通しかないのだからこれ以上の本数、路線の減少は心配です。	女性 70 代
JR が高すぎるのと、本数が少ないので (特に下り)、通院、買物等大変不便です。	女性 50 代

4. 自由記述

JRの運賃が高い。	男性 60代
路線バスには乗ったことがないのでよくわからないが以前に名古屋方面に行くときはJRを利用していましたが運賃が高い。高速バスでいくとJRの半値でいける。ためになる意見がないのですみません。	男性 70代

公共交通運賃について

高齢者が多くなってくるこの地域にとって公共交通機関は大変重要だと思います。車を運転できる時はいいですが高齢者の交通事故が問題視されている現状、車の免許を返納しやすいように公共交通機関が利用しやすいものであるべきだと思います。利用するにあたって時間が合うか料金の問題となってくると思います。料金にあっては行政からの補助があってもいいのではないのでしょうか。	女性 40代
運賃が安すぎるのでは！	男性 60代

高速バスについて

大阪行の高速バスがあれば利用したいです。ふれあいバスの夜間あったら町への飲食が便利だと思う。	男性 60代
高速バスも名古屋行はとても便利ですが、津、松阪行は無いのでこちらも不便ではありません。	女性 50代

バスルートについて

町と町を結ぶ公共交通ではなく、商業地、学校など目的地へ結ぶ交通機関があればお互い（交通会社、商業施設等）の利益になるように思います。例えば明和のイオンは最寄り駅への定期バスが出ています。そのような目的地をつなぐ公共交通にすれば良いのではないかと思います。	男性 50代
ふれあいバスについて現在運行している場所は固定化されていて市内でも運行されていない場所が多い。高齢になり車を運転する事ができなくなると病院、買い物にも困ってくる。例えば新田地区は運行しているのに隣の泉は運行されていない。他地域でもこういう状態はあると思う。不公平感を感じる。市内全域を走らせる事には無理だと思うが少しでも不公平感をなくす方法を考えてほしい。	女性 60代
ふれあいバスは病院、公共施設、クリニック、市内の大型食品店を目的に移動できるように利用時間を現在より少し多くして便利すべきと考えます。	男性 70代
今のところは利用していませんが、将来、津や松阪の病院に通院する際便利なバスがあるとありがたいです。	女性 50代
各地区の主要場所からスーパー、病院への公共交通を充実する。高齢者が利用しやすい公共交通路線を充実する。	男性 60代

4. 自由記述

私は普段自家用車を使用しているので公共交通は使用しませんが、お年寄りの方は病院の関係で松阪や津、伊勢の病院に行くことが多いと思うのでその辺の整備ができれば良いと思います。	男性 30 代
J Rの本数が少ないならその分をバス、他の公共交通手段を充実させてほしい。この先高齢者の人口がほとんどを占める尾鷲市の中で安心して生活するには、市のバス（ふれあいバス）ちゃんと考えてほしいです。尾鷲総合病院、イオンなど生活に必要な場合をぐるぐると回っている本数多く少人数でも可な市内移動用のバスを作ってほしい。地下鉄の環状線、J Rの山手線のようないつでもまわっているタクシーとバスのいいところ取りな感じ。その為にも国道 42 号から瀬木山までのあの道路を早く通してほしい。市内をぐるっとまわる。結局旧市内（朝日町、林町、港町）この辺にはお年寄りが多い地区だと思う。ここから国道沿いのそんな事を考えてもらいたい、生活に必要な場所に手軽に行けるって事。	女性 40 代
バスを小さくしてでも八鬼山線を残してほしい。病院に行くにはバスか救急車しかない。	女性 70 代

バス停の充実（数、設備）

各バス停の充実。	男性 60 代
運転できなくなった時はバスを利用する事になると思います。商業施設近くにバス停があると助かります。	女性 40 代
今の所車がなくても単車、自転車利用で余り不自由は感じませんが、体力が弱ると近くのバス停等あれば利用したいと思います。でも停留所迄行くのに困ると思います。（余り遠いと）買い物と病院通いになります。足が弱ってしまったら本当に大変だと思います。	女性 70 代

バスの増便

ふれあいバスの運行が決まった時は両手をあげて喜んだものですが年月が流れてくるとそれが当たり前のこととなって、皆朝晩もう一本ずつ運行してくれると有難いのにと不満だらけになり、初心を忘れてしまいました。そこで要望として、朝夕 1 本ずつ（尾鷲行）を増便して頂けないでしょうか、市にお願い致します。交通問題をクリアしてこそ尾鷲市が生き活きと生まれ変わり新しく産業も加わって若者も増えてくるでしょう。とにかく若い子が町を歩かないと・・・	女性 70 代
ふれあいバスを利用していたが、今は車で買い物に連れて行ってもらっています。それまではバスだけの利用でしたが運賃は高い、時間帯が悪い、朝の時間も昼までに帰れず午後 2 時のバスは尾鷲での時間が少なくて意味がない。夕方の時間も同じ。尾鷲市内の買い物に行くのに 1 時間もいないのはどんなに早くしても無理です。だからもう少し時間の事を見直してほしいと思います。	女性 60 代

4. 自由記述

バスの運賃

されど年金生活です。同じ場所に行くのにバスの運賃が高いです。	女性 60 代
--------------------------------	---------

バスのサービス全般について

田舎だから不便なのはしょうがないですね。路線バスはコースを増やしてくれれば利用しやすいと思う。一番はバスと JR の連絡がうまく行けば利用も増えるかな？国道の停留所も大切ですが駅は外してはいけないと思う。バス→JR で帰りたいくても病院前なんかで下ろされても駅まで遠い。時間が合わない。利用者は尾鷲市街地の人だけではないですよ。けど採算が合わない路線は維持できないですよ。	男性 30 代
自主返納したらふれあいバスを利用したいと思ってる。	男性 60 代
バス不便。	男性 60 代
高齢者の通院も市内であってもタクシーを利用しなければならず、もう少し考えていただきたいです。	女性 50 代
市の財政運営事情もあるかと思いますが、現在の運行を維持しつつ、利用状況に見合った大きさの乗り物に変更はできないでしょうか。町を大きなバスが走っているのに違和感があります。	女性 60 代

高齢者割引

現在（60 才代）、自家用車でお買い物などに出かけていますが今後高齢になり運転できない状態になった時には公共交通を利用したいです。割引券、無料券があれば良いと思います。	女性 60 代
免許を返納した時の公共交通機関を利用する場合の補助を出してほしい。	男性 70 代

デマンド交通

ふれあいバスの運行が始まった頃に、光ヶ丘へは行くのに私達の所には通らないのか、知り合いの議員さんに尋ねたことがありました。道が狭いとのことでした。そのことを考えますとデマンド交通は高齢者には利用しやすいと思います。ただ地域の方の協力を得るとなると、その協力者も高齢の方なのでは・・・ちょっと心配です。	女性 70 代
デマンド交通についての調査検討を！	70 代

交通サービス・ルール

お年寄りの方でタクシーに乗るのが大変な方もいると思うので運転手さんが助けてくれるようなシステムがあれば安心できると思います。	女性 50 代
--	---------

4. 自由記述

市内を走るミニバイク、自転車の交通ルールがかなりでたらめです。子供達は毎月それを見てあたりまえと思い、同じ様に行動するでしょう。他市町村や都会等に出てから間違いに気づくのでは遅すぎます。歩行者のマナーも悪いです。自動車、自転車、ミニバイク、歩行者と全ての人の交通指導をお願いしたいです。市民の命を守るため、市がやるべきです。	女性 60 代
若者の態度も公共交通マナーが悪い時があるが、高齢の人が運転手さんに対しての横柄な態度が多い気がします。（公共交通に関係無くてもすみません）	男性 50 代

自動車免許返納について

高齢になれば免許の自主返納をしたいが田舎ゆえ公共交通が便利にならないと難しいと思います。	女性 70 代
自主返納しました。	女性 70 代

巡行船の復活について

須賀利に知人がおり、行きたいと思うしこちらにも来て欲しいと思うが、とにかく不便で困ってる。巡航船の復活を望みます（生活の為だけではなく、他にも利用出来ると思います）	女性 60 代
--	---------

道路について

歩道を歩いていてお年寄りには大変歩きにくくなっています。歩道の整備が（歩きやすい）必要？ 斜めになっていてとても歩きにくいです。たまにしか歩きませんが、歩く人にとっては、お年寄りはつまづいたり先日も子供達の通学路でもこけたりするのを見ました。	女性 70 代
--	---------

公共交通全般について

現在 50 代なので車の運転も大丈夫なのですが 70 代ぐらいになった時、少しでも運転に不安があったら運転もせずに買い物へ行ける手段があるのか考えがうかばない。買い物へ行った時、老人の人の車が傷だらけでそれを見ると自分も老いたら、ああなるかと思うと不安。	女性 50 代
自分は利用しないが利用しなければ生活できない人がいるのであれば形はどうあれ継続してほしい。	男性 30 代
大型ではなく、小型で小さな区域ごとに仕組みをつくったら如何でしょうか	女性 70 代
高齢者の進んでいる尾鷲市でやはり毎日の買い物、病院への通院等を便利で外出できる公共交通を考えるべきだと思う。	男性 70 代
全ての質問に対して満足な回答が出来なくて申し訳ありません。とても難しい事ばかりでした。まだ自分で行き来できるのですが、私共より高齢の方々にとっては大事な交通機関なのではないかと考えております。	女性 60 代

4. 自由記述

<p>今は車を運転できるがもっと年齢を重ねた時に利用するかも知れないので地域に応じた交通手段を行政と地域が連携してやっていただきたい。</p>	<p>男性 70 代</p>
<p>前ページに記載しましたとおり気がねせず、みんなが利用できる交通であってほしい。</p>	<p>女性 60 代</p>
<p>平成の初めのころ、熊野市から尾鷲市に移動するのに、JRと三重交通バスと、その日の都合でどちらを使うこともできた。津市に出張するのに、最近までは特急バスを使うことができた。会議が終わって家に帰るときなど、夕方の5時ごろに津の駅前から出るバスがあって、時間的にちょうどよかったので利用する人はたくさんいた。しかし、バスは過疎化に伴って、どんどん本数を減らしていった。平成も半ばになると、バスで熊野から尾鷲に移動するという選択肢がなくなり、今では津や松阪に行く特急バスもなくなった。車を持たない私にとって、この地方の交通事情はどんどん悪くなっていく。何年か前に隣の紀北町相賀のクリニックを受診したのだが、診察が終わってさあ帰ろうとしてもJRもバスもちょうどいい時間のものがない。朝から出かけているのに、お昼を過ぎてからでないと帰れないということがわかって愕然とした。関西方面に出かけるときに、最終のワイドビューで帰ると到着がとても遅くなるので、普通列車を使うことがよくある。尾鷲に近づくと反対列車を待つためなのか、複数の駅で三十分ぐらい停車することがあり、それだけで疲れてしまう。ワイドビューの本数も以前より少なくなっている。利用者が少ないのだから、公共交通の便が悪くなっていくのも仕方がないことなのかもしれないが、自動車を運転しない人や高齢者には、どんどん住みにくい町になっている気がする。</p>	<p>女性 60 代</p>
<p>私は5年前にもアンケートに答えさせていただきましたが5年経った今でも何も改善されていません。熊野市では5年前から乗り合いタクシーの様な物ができていました。私も80才になったら免許返納したいと思っていますが、今の状態では無理です。5年10年はあつという間です。スピード感を持ってやっていただきたいです。先日テレビで近隣の県の町では75才以下のシルバーの方が交代で運転してる事が放映されていました。私達は車がなければ買い物にも病院にも行けません。尾鷲に行けば税金を落とします。勿論、今の路線もある程度維持していただいて、どうか安い運賃で乗れる様をお願い致します。</p>	<p>女性 70 代</p>
<p>公共交通機関は高齢者が多い地方都市ほどなくてはならないものである。しかし、その運行には費用がかかり、運賃収入だけでは賄わないとのこと。それを少しでも補うために尾鷲市ふれあいバスには広告などラッピングや広告放送する。また、米やトイレットペーパーなど重いものや大きな物の車内販売を行う。観光客のためにバス利用ができるよう乗用車、駐輪場を設け、外国人観光客誘致のために英語、フランス語などのアナウンス、ガイドを用意し、ネットに流す。加えてバスはもっと安価な車両とする。アンケート集約、その他意見や要望のなかで「これは」と思うものは制度上、難しくてもあきらめずに関係省庁と交渉して実現に向け頑張してほしい。</p>	<p>男性 60 代</p>

4. 自由記述

まちづくりについて

<p>【ビジョン】日本一住みたい町づくり</p> <p>全国で住みたい町上位5位の良い所を導入する。世界で住みたい町上位5位の良い所をまねる。尾鷲市オリジナルのオンリーワンのものを実行する。日本一のアイデンティティのある住みやすい町をつくる。公共交通は困っている人へのセーフティーネット対策。</p> <p>人情のある江戸を残すか、新しい欧米の東京を創るか、デジタル化していく今後の中で昭和のアナログが見直され人情と人の輪と絆が大切に大事に思われ温故知新の取組が考え出され、地に足のついた昔の「入会制度」のような新しいビジョンが必要。</p>	男性 50 代
<p>尾鷲市ももっと住みやすい町にしてほしいです。若者も働ける町に。</p>	女性 70 代
<p>2/27 の新聞、サウナ試作品完成</p> <p>集客としてとってもいい案とっております。これを火力跡に応援したいです。数人で入れる広い！50年位前のホテルのような人が楽しめる県外、市外の方々が利用できる施設に、前のホテルは先取りし過ぎましたが今だと非常にいいと思います。「何も無い」という人が多いですがこの自然空気なによりも贅沢だと感じています。海洋深層は「小さすぎ」この声もよく聞きます。それには尾鷲駅周辺が頑張してほしい。熊野に負けてきましたね・長島、熊野にはさまれ、おいてきぼりにされるような危機感をつくづく感じています。（アンケート多すぎ、つかれました・・）</p>	女性 70 代
<p>コロナにより一層公共交通利用者が遠のくなかで一様に安心・安全を心掛ける必要があるのですが、現実的には非常に難しいと思うが、いかにコロナと共存共栄できるか行政のいつわりのない情報提供も必要で、利用者に寄り添う計画（例えばスーパー、飲食店、カフェ行き等）も大事では。ただ単に予算面で厳しい部分もあると思うがもっともっと他の予算を見直しすれば可能かと。</p>	男性 70 代
<p>社会保障などは、要領がよく不正に受給している人をなくし、本当に困っている人に行き渡るようにしてほしい。</p>	女性 50 代
<p>九鬼町で移動支援のボランティアをしています。ボランティアはほとんど高齢者であと何年も続けられません。ボランティアにまかせず、行政がやるべきです。その分大型バスなどの運行をやめて、予算を確保すべきと思います。</p>	女性 70 代
<p>大都市に買物ツアー組み利用する</p> <p>日帰り小集団で遊びに行くツアー、弁当持参で安く行けるように</p>	女性 70 代

コロナ禍

<p>公共交通について意見にもつながりますが早く全世界よりコロナが消息を願うばかりです。市長はじめ市職員の皆様の御活躍大変でしょうが頑張って下さい！</p>	女性 70 代
<p>コロナ禍の時代どうなるのでしょうか？</p>	女性 70 代

4. 自由記述

市について

公共交通側も運転者にもっと「愛想よく」して利用者を増やす協力をすれば・・・。	男性 60 代
市役所へ行った時窓口の対応が悪かったので、職員の人の指導をお願いしたいと思います。	女性 30 代
市役所の雰囲気は苦手。職員がもう少し元気な方がよいと思います（全員ではないですが）。	女性 40 代

その他

贅沢は言いません、5年10年後の私達のことを考えて市職員の皆さん市会議の皆さん自分の事ばかり考えなく、市民、人間の事を大事に思い、明るい光、未来に向かって生きようではありませんか。まずそのためには足になる交通です。尾鷲市の一番不便な所であと何年か暮らしていかなくてははいけません。土地、家ローンの25年あと半年残っています。子供たちも30才過ぎました。楽しい事は少なかったです。老人になっても病院や買い物はしたいです。	女性 60 代
旧尾鷲町内ですのでふれあいバスの利用はしていません。又車が運転できるので必要性がありません。	男性 70 代
バスの利用者の年齢、時間帯、行き先、目的等の詳しい調査があれば結果が知りたい。それによってバスの運行について考えることが可能である。	女性 30 代
この質問全般に難しかったです。年寄りにとって特に後半です。長いことありますが頭が混乱してしまいました。もう少し簡潔にしてくださいと思いました。	女性 70 代
今のところは自分で車を運転している為今回のアンケートには答えられない事ばかりです。	女性 60 代
ふれあいバスを利用する人は病院なり、買い物なり、必要のため利用する人達だ。その人達にアンケートでも出して利用する時間帯を把握して利用者の事を考えて下さい。	女性 70 代
公共交通を良く利用する人を選んでその方からアンケートに答えてもらったら良いと思う。実際に利用する時が少ないので答えづらい。	女性 70 代
p15 の問 1～4 の回答は 1 つになっていますが目的は多様で夫々に回数、頻度、所在地などが異なるように思いますので集計結果をどうまとめるのか難しいように思います。例えば私の場合問 1 の 3, 4, 5, 6 夫々で外出頻度や外出先はちがいます。回答に悩みました。	女性 70 代
良く利用している方にアンケートを取る等したらもっと良くなるのではないかと思います。※バスの中に用紙を入れてもらうとか	女性 50 代
こういうアンケートは市内の便利な所に住んでいる人ではなく、もっと不便な地域に住んでいる人達にして欲しいと思います	女性 60 代

5. 調査票

【令和2年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート及び尾鷲市地域公共交通に関するアンケート調査票】

バスを利用して行きたい場所について

問13 現在は三重交通バス、ふれあいバスが運行していないけれども、新たに運行されれば、利用したい行き先がありますか。
行きたい場所があれば、次の表に、行き先、利用目的、利用頻度、利用時間帯をお答えください。
なければ、未記入で結構です。

	行き先	利用目的 (下記Aから選択)	利用頻度 (下記Bから選択)	利用時間帯 (具体的に記入)
記入例	〇〇病院	3	3	行き (9時台) 帰り (12時台)
利用希望				行き () 帰り ()
利用希望				行き () 帰り ()



【A 利用目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買物・飲食 4. 通院
5. 公共施設利用 6. 趣味・娯楽 7. その他 ()

【B 利用頻度】 1. 毎日 2. 週に5~6日 3. 週に3~4日 4. 週に1~2日
5. 月に2~3日 6. 月に1日以下 7. その他 ()

定時・定路線（決まった時間に決まったルート）のバス運行について

問14 全国的に少子高齢化が進み、利用者の減少により、今までのような定時・定路線（決まった時間に決まったルート）のバス運行の維持が難しくなっています。この定時・定路線の運行についてどう思われますか。（1つに〇印）

1. 定時・定路線はわかりやすいので、現状を維持して欲しい。
2. 利用者が少ないバス停やルートは廃止したうえで、定時・定路線を維持して欲しい。
3. 定時・定路線を維持しつつ、それを補う形で、乗りたい時間に乗れるような新しい仕組みを一部に取り入れて欲しい。
4. 定時・定路線は不便なので廃止し、全て乗りたい時間に乗れる仕組みにして欲しい。
5. わからない
6. その他 ()

5. 調査票

【令和2年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート及び尾鷲市地域公共交通に関するアンケート調査票】

⇒利用するかもしれない方（1、2を選ばれた方）にお聞きします。

付問(1) 利用したい理由はなんですか。（複数回答可）

1. 便利そうだから
2. 利用したいときに利用できるから
3. 他の移動手段よりも安く移動できそうだから
4. 現在の路線バス・ふれあいバスのバス停が遠いから
5. 地域での助け合いが必要だから
6. その他（)

⇒利用しない（3、4、5を選ばれた方）にお聞きします。

付問(2) 利用しない、あるいはわからない理由はなんですか。（複数回答可）

1. 予約の手間が面倒だから
2. 他人と乗り合わせるのがいやだから
3. ふれあいバスの料金より高くなる可能性があるから
4. 現在のふれあいバスを便利にしてほしいから
5. 家族や知人が送迎してくれるから
6. 自家用車や自転車等で移動するので必要ないから
7. その他（)

今後の公共交通について

ふれあいバス4路線の運行に対して運賃だけでは賄えないため、尾鷲市では年間約4,410万円（令和元年度）を拠出しています。令和元年度の利用者は累計55,604名で、利用者一人あたりにすると約793円の経費を支出しています。これは、市民一人あたりにすると年間約2,531円の負担をお願いしていることになります。

今後、人口減少が進む中で公共交通サービスを維持しようとする、市からの拠出が増えることが予想されます。このような現状を踏まえて、次の質問にお答えください。

問17 市が公共交通の費用負担をしていることについて、どのように思われますか。
(1つに○印)

1. 市の費用負担を増やしてでも、運行サービス（運行ルート、運行本数など）を充実すべき
2. 市の費用負担は現状のままで、運行を維持すべき
3. 運賃を増額してでも市の費用負担を減らし、運行を維持すべき
4. 観光客の利用増などにより市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき
5. 地域住民での助け合いによる移動の仕組みも取り入れ、市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき
6. 市の費用負担を減らし、運行サービスを縮小すべき
7. 継続して運行する必要はない
8. わからない

5. 調査票

【令和2年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート及び尾鷲市地域公共交通に関するアンケート調査票】

問18 公共交通を維持するためには、数多くの方々に通勤、通学、観光をはじめ、お出かけの際に公共交通を利用していただきたいと考えておりますが、どのような公共交通であれば利用したいと思いますか。(自由記載)

問19 新型コロナウイルスの影響により公共交通の利用者数が大きく減少しています。コロナ禍はあなたの公共交通の利用に影響を与えましたか。(1つに○印)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 気にせずいつも通り利用した |
| 2. ためらいがあったが、いつも通り利用せざるを得なかった |
| 3. ためらいがあったため、いつもより利用を控えた |
| 4. ためらいがあったため、利用をやめた |
| 5. もともと利用していない |
| 6. その他 () |

問20 ウイズ・コロナ、アフター・コロナに向けて、また今後の感染症に対して、どのような対策があれば、安心して公共交通を利用できると思われますか。(自由記載)

ご自身について

(当てはまる番号を選び○で囲んでください。)

(1) 自動車運転免許証はお持ちですか	1. もっている 2. もっていない
(2) 自動車を運転しますか	1. 車を保有しており、自分で運転する 2. 世帯には車があるが、自分は運転しない 3. 世帯に車がない
(3) 運転に不安を感じるようになったら、運転免許証を自主返納しますか	1. 自主返納する 2. 自主返納しない 3. わからない

